

東京創元社

2025 年 新刊ラインナップ

国内ミステリ Lineup for 2025 : Japanese Mysteries

1	『 僕たちの青春はちょっとだけ特別 2 』 ※仮題	四六判仮フランス装
	雨井 湖音（あまい・こおと）	年内
	2学期になってもクラスメイトのことを忘れずに、すんなりと学校生活にとけ込めた青崎架月だったが、2年生の先輩女子にある無理難題を押しつけられてパニック寸前。文化祭に漫画を展示する予定の先輩コンビの仲違いの要因を探ることを頼まれたのだ。実習先での出来事や、文化祭でのトラブルなど、明星高等支援学校の面々の青春を描くシリーズ第2弾。	
	著者紹介：1996年宮城県生まれ。宮城県在住。宮城教育大卒。現在、高等支援学校の職員として働く傍ら、ミステリ小説の執筆を行う。『僕たちの青春はちょっとだけ特別』を「東京創元社×カクヨム 学園ミステリ大賞」に投じ、大賞を受賞する。	

2	『 ぼくらはアン 』【文庫版】	創元推理文庫
	伊兼 源太郎（いがね・げんたろう）	5 月
	弁護士事務所で働く諒佑のもとに、幼馴染みの誠の搜索依頼がもたらされた。幼少期の経験から大切にしていた日——クリスマスを目前に、誠はなぜ失踪したのか。諒佑は誠たちと出会った十数年前の夏を回想する。無戸籍、ヤクザの家系、不法滞在者……さまざまな理由から世間から外れて生きていた五人の子供たち。学校には行けずとも、楽しく豊かだった彼らの生活は、ある事件を境に一変した。	
	著者紹介：1978年東京都生まれ。上智大学法学部卒業。新聞社勤務などを経て、2013年に『見えざる網』で第33回横溝正史ミステリ大賞を受賞し、デビュー。他の著書に、『巨悪』『金庫番の娘』『事件持ち』『地検のS』シリーズ、〈警視庁監察ファイル〉シリーズ、『祈りも涙も忘れていた』『約束した街』『リンダを殺した犯人は』などがある。	

3	『 ぬくもり荘のまかないさんは 』 ※仮題	創元推理文庫
	内山 純（うちやま・じゅん）	年内
	『下宿人募集。落合駅徒歩七分。8畳ワンルーム。キッチン・バス・トイレ・庭共有。下宿代月一万円。まかないあり（要実費）。管理人のお悩み付。』 下宿屋〈なかもり荘〉の管理人・凧人は、ささやかなことにこだわったり何てことないことに疑問を感じたら納得できるまで質問し続けたりと、少しだけ変わっている。しかし彼が作る素朴なまかないの数々は、どれもすこぶる美味しい。それぞれに事情を抱えた下宿人たちは、この不器用だけれど一生懸命な管理人の悩みを聞き、食事を共にしていくことで、いつしか自身のわだかまりにも向き合っていく。人と人が落ち合う下宿屋で繰り広げられる、心温まる物語。	
	著者紹介：1963年神奈川県生まれ。立教大学卒。2014年『B（ビリヤード）ハナブサへようこそ』で第24回鮎川哲也賞を受賞しデビュー（後に『ビリヤード・ハナブサへようこそ』と改題して文庫化）。他の著書に『新宿なぞとき不動産』『土曜はカフェ・チボリで』『みちびきの変奏曲』『レトロ喫茶おどけい』『魔女たちのアフタヌーンティー』『さかのぼり喫茶おどけい』がある。	

4	『 呻木叫子シリーズ第 4 弾 』 ※仮題	四六判仮フランス装
	大島 清昭（おおしま・きよあき）	年内
	山椒魚に似た未確認生物ハザコ男。この謎の存在の怒りに触れた男が発狂して一族を皆殺しにしたという伝承が伝わる地で新たに起きる殺人の謎を描く「ハザコ男の怪談」。25になった長女は必ず死ぬという呪いの一族・蘆野家の娘が、運命を変えるため怪談作家・呻木叫子の助力を得て呪いのメカニズムを解明しようとする「蘆野家の怪談」。そして、子供を攫って冷蔵庫に封じて殺す老婆という都市伝説に沿った連続殺人「冷蔵庫婆の怪談」など四編を収録する。	
	著者紹介：1982年栃木県生まれ。筑波大学大学院修士課程修了。研究者として幽霊・妖怪について論考を発表するかたわら、2020年、『影踏亭の怪談』で第17回ミステリーズ！新人賞を受賞。著書に『現代幽霊論』『Jホラーの幽霊研究』『影踏亭の怪談』『赤虫村の怪談』『地羊鬼の孤独』『最恐の幽霊屋敷』『バラバラ屋敷の怪談』『一目五先生の孤島』がある。	

5	『 電信局の殺人 』 ※仮題	四六判上製
	岡本 好貴（おかもと・よしき）	年内
	時は1872年、ヴィクトリア朝ロンドン郊外。電信局のベテラン女性電信士として働くローラ・テンバートンは、結婚と職業どちらを選ぶかで日々悩んでいた。ある晩、彼女は局長アクトンを訊ねてきた局長の甥ネイト・ホーキンスと出会う。だが局長室に案内したところ、アクトンは密室内で死体となって発見された。警察は遺産相続人となったネイトを疑うが、ローラは死体発見時の様子から彼の無実を確信し、コンビを組んで真犯人を追うことに。まさにクリスティの巧妙さとカーの大胆さ、新世紀の黄金期本格！	
	著者紹介：1987年岡山県生まれ。岡山県在住。鳥取大学大学院修了。現在は動画投稿者。2023年、『帆船軍艦の殺人』で第33回鮎川哲也賞を受賞し、デビュー。	

6	『 嘘つきたちへ 』 ※仮題	四六判仮フランス装（ミステリ・フロンティア）
	小倉 千明（おぐら・ちあき）	夏
	過疎化が進んだ故郷での小学校時代、数少ない同級生との再会で思い出すのは、あの夏の事故のことだった。同級生の一人が沼に落ちて亡くなったあの事故は実は……。第1回創元ミステリ短編賞を受賞した「嘘つきたちへ」、生放送のラジオ収録現場でリスナーからの不思議な質問に相棒の態度が途端に怪しくなる「ラジオ」など、全6編の嘘つきたちの競演を描く、デビュー短編集。	
	著者紹介：1984年山口県生まれ。神戸大学卒。2023年「嘘つきたちへ」で第1回創元ミステリ短編賞を受賞。本作で本格的なデビューとなる。	

7	『 吸血鬼と精神分析 』	創元推理文庫
	笠井 潔（かさい・きよし）	春
	DRACの血文字を残して射殺されていたルーマニアからの亡命将校。その後の女性たちが全身の血を抜かれる連続猟奇殺人。この吸血鬼（ヴァンピール）事件にいどむ矢吹駆。シリーズ第6弾！	
	著者紹介：1948年東京都生まれ。79年にデビュー作『バイバイ、エンジェル』で第6回角川小説賞を受賞。ミステリ作家、伝奇作家として活躍する傍ら、精力的な評論活動を展開。98年に『本格ミステリの現在』の編者として第51回日本推理作家協会賞を受賞、2003年には『オイディプス症候群』『探偵小説論序説』で、第3回本格ミステリ大賞を、小説、評論・研究の両部門で受賞。主な著作は『テロルの現象学』『哲学者の密室』『ヴァンバイヤー戦争』『魔』など。	

8	『 屋上物語 』	創元推理文庫
	北森 鴻（きたもり・こう）	夏
	デパートの屋上、それはかつて人々の憩いの場であった。遊園地であり、レストランであり、ショーありとエンターテインメントの集う場所だった。とあるターミナル駅に隣接する有名デパートの屋上には、知る人ぞ知る讃岐うどんの名店がある。老若男女のファンが、うどんの味を求めてやって来るが、同時に不思議な謎も集まってくるのだ。うどんを供するのと同様に、素早く味わいよく謎解きするのは、通称「さくら婆ぁ」。デパートの屋上にもたらされる様々な人間模様を、北森鴻が丁寧に描いた連作ミステリ。デビュー30周年に装いも新たに贈る、決定版。	
	著者紹介：1961年山口県生まれ。駒澤大学卒業。編集プロダクション勤務を経て、95年『狂乱廿四孝』で第6回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。99年『花の下にて春死なむ』で第52回日本推理作家協会賞を受賞。〈香菜里屋〉シリーズ、〈冬狐堂〉シリーズ、〈蓮丈那智〉シリーズなど、人気シリーズを数多く手がける。2010年没。	

9	『 神の光 』 ※ 仮題	四六判単行本
	北山 猛邦（きたやま・たけくに）	年内
	1955年、ジョージは一攫千金を夢見て砂漠の町にある会員制の高レートカジノに忍びこむ。そして見事大金を得て見咎められないようカジノを抜け出すことに成功するも、盗んだバイクのエンジンが切れて夜の砂漠で立ち往生してしまう。近くにあった小屋で休み夜明けとともに小屋を出ると、カジノがあった砂漠の町が一夜のうちに跡形もなく消えていた――第76回日本推理作家協会賞短編部門の候補に選ばれた「神の光」を始め、圧倒的なトリックで魅せる奇跡の如き消失劇を5編収録。稀代のトリックメーカー・北山猛邦の新たな代表作となる、傑作推理短編集。今年こそ出ます。収録作＝「1941年のモーゼル」「神の光」「未完成月光」「藤色の鶴」「書き下ろし短編」	
	著者紹介：1979年生まれ。2002年『「クロック城」殺人事件』で第24回メフィスト賞を受賞してデビュー。21年「すべての別れを終えた人」で、22年「神の光」でそれぞれ日本推理作家協会賞短編部門の候補になる。主な著書に『踊るジョーカー』『少年検閲官』『アルファベット荘事件』『私たちが星座を盗んだ理由』『人魚姫 探偵グリムの手稿』『つめたい転校生』『月灯館殺人事件』などがある。	

10	『 明智卿死人を起す 』	創元推理文庫
	小森 収（こもり・おさむ）	4 月
	菊の御料所で起きた雪密室殺人事件の解決後、帝の新たな命により、行方不明となった上級陰陽師の捜索にあたるべく堺を訪れた権刑部卿・明智卿と陰陽師・安倍天晴。いっぽう京では老若男女を問わず骸が続いて盗まれていた。堺と京、商と政の中心地でそれぞれ起きる奇怪な事件はやがて思わぬ場所で交錯する――不可能犯罪に名探偵と陰陽師が挑む本格ミステリシリーズ第二弾、色々パワーアップして文庫オリジナルで登場。	
	著者紹介：1958年福岡県生まれ。大阪大学人間科学部卒業。主な著書・編書に『小劇場が燃えていた』『はじめて話すけど…………』『本の窓から』、小説の著作に『終の棲家は海に臨んで』『土曜日の子ども』『明智卿死体検分』がある。2022年、三世紀にわたる短編ミステリの歴史を俯瞰したアンソロジー＆評論書『短編ミステリの二百年』（全6巻）で第75回日本推理作家協会賞および第22回本格ミステリ大賞（ともに評論・研究部門）を受賞。	

11	『 特撮なんて見ない 』	四六判単行本
	澤村 伊智（さわむら・いち）	冬
	アメリカの有名な映画祭で、日本人女性プロデューサー・佐倉真帆が手がけた映画が作品賞を受賞した。彼女は受賞スピーチで、「高校三年の夏、湯浅組のみんなと撮った青春映画のおかげでここに立つことができた」と語り、当時を振り返る。――高校三年生の真帆は転校生の湯浅晋吉と、湯浅の唯一の友人で真帆の幼馴染み・音無敏史と共に、特撮怪獣映画を撮ることになる。真帆は名プロデューサーだった、亡き祖父・石川天縫譲りの手腕を発揮。同級生の中からスタッフや俳優、スーツアクターを集め、時にぶつかり合いながらも撮影を進めていく。しかし、何者かから撮影中止を要求する脅迫状が届き……。エンタメ界の気鋭が贈る、衝撃の青春ミステリ！	
	著者紹介：1979年大阪府生まれ。2015年『ぼざわんが、来る』で第22回日本ホラー小説大賞を受賞しデビュー。19年「学校は死の匂い」が第72回日本推理作家協会賞を受賞。著書に『すみせこの賛』『斬首の森』『頭の大きな毛のないコウモリ 澤村伊智異形短編集』などがある。	

12	『 天網恢々（てんもうかいかい） アルケミー 』	創元推理文庫
	下村 智恵理（しもむら・ちえり）	4 月
	高校2年の春、東京から群馬県の高校に転入してきた安井良。ある日、化学室の前で、良は白衣を着た金髪のギャルと出会う。彼女は同じ高校2年生の木暮珠理で、なんとアルコールランプで牛タンを炙って食べているのだ。この強烈な出会いから、良の学園生活は一変する――。図書館の忌書の謎、黄泉からの手紙、トンネルの悪霊など、男子校から共学校へと転校した少年と科学部の面々が織りなす、青春化学ミステリ。「東京創元社×カクヨム 学園ミステリ大賞」優秀賞受賞作。	
	著者紹介：1987年生まれ。千葉大学大学院修了。『エンド・アステリズム なぜその機械と少年は彼女が不動で、宇宙の中心であると考えたか』で、第11回スーパーダッシュ小説新人賞優秀賞受賞。	

13	『 死体埋め部の悔恨と青春／死体埋め部の回想と再興 』	創元推理文庫
	斜線堂 有紀（しゃせんどう・ゆうぎ）	6 月・7 月
	英知大学に入学したばかりの祝部（はふりべ）は、大学からの帰り道で暴漢に襲われ、誤って相手を殺してしまう。そこへ大学の先輩・織賀（おりが）が通りがかり、死体を処分してくれるという。途方に暮れる祝部は助けをかりることにして織賀の車に乗り込んだが、そこには既に別の死体が座っていた……。最注目作家による異色の青春ミステリ、待望の復刊！	
	著者紹介：1993年秋田県生まれ。上智大学卒。2016年、『キネマ探偵カレイドミステリー』で第23回電撃小説大賞メディアワークス文庫賞を受賞しデビュー。『楽園とは探偵の不在なり』で第21回本格ミステリ大賞候補、『回樹』で第44回日本S F大賞、第45回吉川英治文学新人賞候補。24年、『星が人を愛すことなかれ』で第4回本屋が選ぶ大人の恋愛小説大賞を受賞。著書に『恋に至る病』『本の背骨が最後に残る』『ミステリ・トランスミッター 謎解きはメッセージの中に』などがある。	

14	『 粒と棘 』 ※ 仮題	四六判単行本
	新野 剛志（しんの・たけし）	夏
	ある男は、満州から空輸された金塊の行方を知る生き残りとして追手から逃げる――飛行士として空を駆けた日に思いを馳せながら。ある少年は、みずからと似た境遇の浮浪児を誘って地方の農家に売り歩く――それがかれらにとっての幸福に違いないと信じながら。1945年以降、第二次世界大戦の終結とともに被占領国となった日本の状況は一変した。家族も尊厳も、あらゆるものを失い、それでもなお戦後という時代を、人々は惨めにも気高く生き切る。著者が短編の名手としての本領を遺憾なく揮った珠玉の六編。	
	著者紹介：1965年東京都生まれ。立教大学卒。99年『八月のマルクス』で第45回江戸川乱歩賞を受賞してデビューする。2008年『あばやん』が第139回直木賞の候補となる。主な著書に『僕の探偵』『カクメイ』『明日の色』『キングダム』『溺れる月』『優しい街』『空の王』がある。	

15

『 記憶の対位法 』	四六判上製
高田 大介（たかだ・だいすけ）	4 月
マグレブ系の事件記者ジャンゴ・レノートルは、フランス中部の寒村で祖父マルセルの遺品を整理する役目を兄から押しつけられた。マルセルが大戦後に対独協力者として弾劾されて以降、一族は彼の失墜を一家の醜聞として遠ざけていた。ジャンゴは祖父宅の隠し部屋から、数十にも及ぶ黒檀の小箱を発見する。その内張りの芯地には謎めいた一節が書かれた紙片が用いられていた。取材先で知り合った大学院生ゾエ・ブノワの協力のもと、ジャンゴは「裏切り者」と誹られた祖父が失意の中で追い求めたものの正体を探ろうとする。	
著者紹介：1968年、東京都生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。早大、東京芸大などで講師を務めたのち渡仏。専門分野は印欧語比較文法・対照言語学。『図書館の魔女』で第45回メフィスト賞を受賞。著書に『図書館の魔女 烏の伝言』『まほり』『図書館の魔女 高い塔の童心』がある。	

16

『 馬鹿みたいな話！ 昭和 36 年のミステリ 』【文庫版】	創元推理文庫
辻 真先（つじ・まさき）	3 月
昭和36 年のテレビ草創期、中央放送協会（CHK）でプロデューサーとなった大杉日出夫の計らいで、ミュージカル仕立て、生放送のミステリ・ドラマの脚本を手がけることになった風早勝利。四苦八苦しながら脚本を完成させ、ようやく迎えた本番。アクシデントを乗り越り、さあフィナーレという最中に主演女優が殺害された姿で発見された。現場は衆人環視下の放送中のスタジオ。駆け出しミステリ作家・風早と那珂一兵が、テレビ局内の殺人事件の謎解きに挑む。『深夜の博覧会』『たかが殺人じゃないか』に続く、“昭和ミステリ”シリーズ完結篇。	
著者紹介：1932年愛知県生まれ。名古屋大学卒。NHK勤務後、『鉄腕アトム』『サザエさん』『サイボーグ009』『デビルマン』『Dr.スランプ アラレちゃん』など、アニメや特撮の脚本家として幅広く活躍。72年『仮題・中学殺人事件』でミステリ作家としてデビュー。82年『アリスの国の殺人』が第35回日本推理作家協会賞を、2009年に牧薩次名義で刊行した『完全恋愛』が第9回本格ミステリ大賞を受賞。19年に第23回日本ミステリー文学大賞、25年に令和6年度名古屋市芸術特賞を受賞。20年刊行の『たかが殺人じゃないか 昭和24年の推理小説』は、年末ミステリランキング3冠を達成する。近年では、アンソロジーへの寄稿や同人活動も積極的に行なっている。	

17

『 トリカゴ 』【文庫版】	創元推理文庫
辻堂 ゆめ（つじどう・ゆめ）	発売中
蒲田署刑事課の森垣里穂子は、殺人未遂事件の容疑者ハナを尾行中、無戸籍者が隠れ住むコミュニティを発見する。彼らが唯一安心して暮らせる場を、警察の捜査が壊すかもしれない――里穂子は苦悩しながら調べを進めるうち、かつて日本中を震撼させた未解決の“鳥籠事件”との共通点に気づく。刑事たちが執念の捜査の末に辿りついた、胸を衝く真相とは。第24回大藪春彦賞受賞作。	
著者紹介：1992年神奈川県生まれ。東京大学卒。第13回『このミステリーがすごい!』大賞優秀賞を受賞し、『いなくなった私へ』でデビュー。『十の輪をくぐる』で第42回吉川英治文学新人賞候補。『トリカゴ』で第24回大藪春彦賞を受賞。他の著書に『片想い探偵追掛日菜子』『卒業タイムリミット』『あの日の交換日記』『十の輪をくぐる』『答えは市役所3階に』『サクラサク、サクラチル』『山ぎは少し明かりて』『二人目の私が夜歩く』『ダブルマザー』など多数。	

18

『 刹那の夏 』	四六判単行本
七河 迦南（ななかわ・かなん）	年内
春に起きた自然災害のため、甚大な被害を受けた地にボランティアとして訪れた女性二人。宿の娘は、生涯独身を貫いた伯父の遺品であるボトルシップを彼女たちに見せる。ボトルシップ内の机に置かれたミニチュアの本に書かれた俳句は、伯父が少年の日に出会った少女と遭遇した謎と罪と罰を秘めたものだった（表題作）。叔母といとこの暮らす館で一夏を過ごすことになった少年は、館の主だった老女の日記をひもとくことで一族を覆う愛憎のもつれを知る。（「千夜行」）ほか、『七つの海を照らす星』の名手が贈る本格ミステリ短編集。	
著者紹介：東京都出身。早稲田大学卒業。2008年、『七つの海を照らす星』で第18回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。10年刊の『アルバトロスは羽ばたかない』は、第64回日本推理作家協会賞（長編及び連作短編集部門）候補になるなど高い評価を得る。他の著作に『空耳の森』『夢と魔法の国のリドル』がある。	

19

『 願わくば海の底で 』	四六判並製
額賀 濤（ぬかが・みお）	2 月
東北地方沿岸部のとある高校。そこで起こるささやかな謎の中心には、いつだって彼がいた。校舎が荒らされた前夜に目撃された青い火の玉。プールサイドで昼食を取っていたとき、話しかけてきた同級生を水中に突き飛ばしてしまった女子生徒の真意。テーマ不明の、花瓶に生けられた花の絵。そして、高校卒業後大学に入学するまでの何者でもなかった二〇一一年の"あの日"以来、私たちの前から姿を消してしまった彼自身――。これは大切なものほどなくしてしまう悪癖に悩まされ、それでも飄々と振る舞う青年が歩んだ、高校生活三年間の軌跡を辿りなおす物語。	
著者紹介：1990年茨城県生まれ。日本大学芸術学部卒。2015年『ヒトリコ』で第16回小学館文庫小説賞、『屋上のウインドノーツ』で第22回松本清張賞を受賞しデビュー。吹奏楽、スポーツ、お仕事小説など多彩なジャンルの書き手として注目を集める。また、出版業界の内状に切り込んだノンフィクション『拝啓、本が売れません』も評判となる。著作は他に『タスキメシ』『競歩王』『沖晴くんの涙を殺して』『モノクロの夏に帰る』『転職の魔王様』『夜と跳ぶ』などがある。	

20

『 不等辺五角形 』	四六判単行本
貫井 徳郎（ぬくい・とくろう）	夏
避暑地の別荘で、事件は起こった。幼馴染みの男女五人のうち、ひとりが死体となって発見され、ひとりが「私が殺した」と告げて警察に連行される。残された三人は弁護士に順に証言をしていくが、同じ出来事を語っていても当事者の思惑は三者三様に異なり、事件をめぐる人物像と関係性はめまぐるしく変貌する。なぜ殺人は起きたのか。関係者の証言のみで構成された、息を呑む心理劇の結末は。著者の新たな到達点となる長編ミステリ。	
著者紹介：1968年東京都生まれ。早稲田大学商学部卒。93年に『慟哭』でデビュー。2010年『乱反射』で第63回日本推理作家協会賞を、『後悔と真実の色』で第23回山本周五郎賞を受賞。『光と影の誘惑』『プリズム』『愚行録』『ミハスの落日』『明日の空』『新月譚』『ドミノ倒し』『私に似た人』『邯鄲の島遥かなり』『紙の梟 ハーシュソサエティ』『龍の墓』『ひとつの祖国』など著作多数。	

21

『 仕掛島 』【文庫版】	創元推理文庫
東川 篤哉（ひがしがわ・とくや）	夏
岡山の名士が遺した二通の遺言状。一通目の遺言に従って、一族の面々は瀬戸内の孤島・斜島に集められた。行方を晦ましていた怪しげな親族までも別荘・御影荘に招かれるなか、もう一通の遺言状が読みあげられたその翌朝、相続人の一人が死体となって発見される。折しも嵐によって島は外界から隔絶される事態に。相続人探しの依頼を受けていた私立探偵・小早川隆生と遺言執行人の代理を務める弁護士・矢野沙耶香、ふたりは次から次へ奇怪な事件に巻き込まれていく。鬼面の怪人物の跳梁、消える人影、そして一族が隠していた二十三年前の悲劇——続発する怪事の果て、探偵たちの眼前に驚愕の真相が現出する！	
著者紹介：1968年広島県生まれ。岡山大学法学部卒。鮎川哲也編集長による公募アンソロジー『本格推理』への投稿・入選を経て、2002年〈KAPPA-ONE〉第一期生として『密室の鍵貸します』でデビュー。『謎解きはディナーのあとで』が2011年本屋大賞を受賞する。主な著書に〈烏賊川市〉シリーズのほか『館島』『放課後はミステリーとともに』『魔法使いは完全犯罪の夢を見るか？』『純喫茶「一服堂」の四季』『探偵少女アリサの事件簿 溝ノ口より愛をこめて』『博士はオカルトを信じない』がある。	

22

『 わたしのいないテーブルで デフ・ヴォイス 』【文庫版】	創元推理文庫
丸山 正樹（まるやま・まさき）	5月
新型コロナウィルスが蔓延する2020年春、手話通訳士の荒井の家庭も様々な影響を被っていた。荒井は休校、休園となった二人の娘の面倒を見るため手話通訳の仕事も出来ない。中でも美和は高校受験を控え、ナーバスな時期。そんな中、旧知のNPOから、ある事件の支援チームへの協力依頼が来る。女性ろう者が、口論の末に実母を包丁で刺した傷害事件だ。聴者である母親との間に何が？ 草薨剛主演ドラマで話題をさらった、〈デフ・ヴォイス〉シリーズ第4弾。	
著者紹介：1961年東京都生まれ。早稲田大学卒。シナリオライターとして活躍ののち、松本清張賞に投じた『デフ・ヴォイス』でデビュー。同作は書評サイト「読書メーター」で話題となり、後にシリーズ化。2021年『ワンダフル・ライフ』で読書メーター OF THE YEAR 2021に選ばれる。他の著作に『漂う子』『ウェルカム・ホーム！』『キッズ・アー・オールライト』『夫よ、死んでくれないか』などがある。	

23

『 朝からブルマンの男 』※仮題	四六判仮フランス装（ミステリ・フロンティア）
水見 はがね（みずみ・はがね）	夏
喫茶店で週三回、一杯二千元もするコーヒーを注文する客の正体は？ 第1回創元ミステリ短編賞受賞作「朝からブルマンの男」、金曜日だけ味が落ちる友人宅の夕食の謎「ウミガメのごはん」、高校受験の日、同級生が取った奇妙な行動の真相とは「受験の朝のドッベルゲンガー」など、桜戸大学ミステリ研究会に所属する大学生コンビが遭遇する謎を描いた全5編収録の連作短編集。	
著者紹介：1985年埼玉県生まれ。日本大学卒。「朝からブルマンの男」で第1回創元ミステリ短編賞を受賞。	

24

『 霧と虹とサイダーの氷 』	創元推理文庫
宮原 海渡（みやはら・かいと）	夏
秋湊高校新入生初登校の日、一年一組全員の机のなかに、小さなカード三枚と何者かからの挑発的なメッセージが入れられていた。曰く、「諸君、入学おめでとう。君たちに入学祝いを用意した。これから出題する謎をすべて解き明かすことができれば、商品を差し上げよう」——かくしてゲームの幕は上がる。期限は五月一日、教師に知られた時点でこの謎解きは強制終了。クラスメイト全員を巻き込んで突進する、一年一組限定の謎解きゲームの顛末は？ 新鋭が放つ生粋の学園ミステリ、「東京創元社×カクヨム 学園ミステリ大賞」優秀賞受賞作。	
著者紹介：1997年広島県生まれ。広島修道大学人文学部卒業。2024年、「東京創元社×カクヨム 学園ミステリ大賞」に投じた「四月の教室におけるあなたの居場所についての問い」で優秀賞を受賞。受賞作を改題改稿した本作でデビュー。	

25

『 あれは子どものための歌 』【文庫版】	創元推理文庫
明神 しじま（みょうじん・しじま）	4月
因縁めく旅人と八年ぶりに再会した料理人、飢饉に苦しむ国を救った謎の商人、不思議なナイフで自らの“影”を切り離れた男——三人の話が並行して語られて終盤でひとつになり、驚愕の真相が浮かび上がる第7回ミステリーズ！新人賞佳作「商人（あきんど）の空誓文（からせいもん）」。どんな賭けにも負けない力を得た少女を描いた表題作。その他、あらゆる傷を跡形なく消し去る名医など、“この世の理に背く力”に人生を狂わされる者達の物語全5編と、その背後で進行する国の存亡に関わる陰謀を、架空の異国を舞台に、本格ミステリの興趣を巧みに織り込んで描いた連作集。	
著者紹介：1989年東京都生まれ。早稲田大学卒。在学中はワセダミステリクラブに所属。2010年「商人の空誓文」が第7回ミステリーズ！新人賞佳作となる。14年に発表した「あれは子どものための歌」は、本格ミステリ作家クラブの年刊アンソロジーにも選ばれた。22年、両作を含む連作短編集『あれは子どものための歌』でデビュー。	

26

『 白魔の檻 』	四六判上製
山口 未桜（やまぐち・みお）	年内
院内で死体となって発見された病院スタッフ。霧とガスで鎖された白い牢獄に囚われたのは、87人の容疑者たち。研修医・春田芽衣と医師・城崎響介は、犯人を突き止め無事に脱出することができるのか。	
著者紹介：1987年兵庫県生まれ。神戸大学卒業。現在は医師として働く傍ら、小説を執筆している。2024年『禁忌の子』で第三十四回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。	

27

『 車井戸は何故軋る 横溝正史傑作短編集 』	四六判上製
横溝 正史（よこみぞ・せいし）	2月
ミステリ界の巨匠・横溝正史。デビュー作「恐ろしき四月馬鹿（エイプリル・フール）」から著者没後に発表された「空蟬処女（うつせみおとめ）」まで、〈金田一耕助〉シリーズ、〈由利麟太郎〉シリーズ、ノンシリーズから精選した傑作17編を、入手困難な初出誌と初刊本をもとにして執筆順に収録。本格推理、耽美小説、時代小説など多岐にわたるジャンルで活躍した著者の軌跡を堪能できる、珠玉のベスト短編集！	
著者紹介：1902年兵庫県生まれ。大正期より執筆活動始める。乱歩に招かれて博文館に入社、雑誌「新青年」編集長としても活躍した。32年に退社し作家専業となる。48年『本陣殺人事件』で第1回探偵作家クラブ賞を受賞。『獄門島』『八つ墓村』『犬神家の一族』ほかの〈金田一耕助〉シリーズなど、数々の名作で人気を博した。81年没。	

28

『 選んで、語って、読書会 1・2 』	創元推理文庫
有栖川 有栖（ありすがわ・ありす）、北村 薫（きたむら・かおる）、宮部 みゆき（みやべ・みゆき）	3月
誰もが一度は人生のなかで、忘れられない作品と出会ったことがあるのではないのでしょうか。アンソロジーには、誰かが長い時間をかけてあつめたそれらがひとところに収められた、宝箱を見せてもらう愉しみがあります。当代きっての読書家である三人がお互いの“とっておき”をひとつずつ見せあいながら、時間をかけて編まれたアンソロジーとなる本書。きっとあなたにとっても大切なものとなる、宝石のごとき一編と出会えるはずです。	

29

『 113代目の図書館司書助手 』 ※ 仮題 The 113th Assistant Librarian		四六判上製
スチュアート・ウィルソン	児玉 敦子 訳	冬
図書館司書ヒエロニムスが彼を新しいアシスタントに抜擢したことで、オリバーの運命は思わぬ方向へ転がる。初日にヒエロニムスから図書館の隠された危険について不可解な警告を受けるが、図書館の危険性をもっと伝えようとしていた矢先、ヒエロニムスは心臓発作で亡くなってしまう。仕方なくほやほやの見習いであるオリバーが責任者となり、次々とやってくる本の借り手と格闘することに。魔道士たちは呪文書を必要とし、歴史家たちは真実を追求し、科学者たちは分類システムについて議論する。オリバーの唯一の仲間は9匹の図書館猫だが、猫たちは助けるのと同じくらいしょっちゅう邪魔をしてくる。さらにカミソリの歯を持つ本の虫と戦ったり、ステンドグラスから出現する騎士を退治したりしながらも、オリバーは図書館の秩序を保とうと奮闘するが……。		
著者紹介：オーストラリアのメルボルン在住。Prometheus Highシリーズで作家デビュー。本書は第2シリーズの1作目。		

30

『 海辺のうた 』 ※ 仮題 The Sing of the Shore		四六判仮フランス装
ルーシー・ウッド	木下 淳子 訳	春
大西洋とイングランドの陸地が出会う場所——コーンウォールのみぎわでは、現実と幻想もまた出会い、混ざりあい、忘れがたき物語が生まれていく……海と水辺がテーマの幻想譚13編を収録。サマセット・モーム賞受賞作『潜水鐘に乗って』に続く、気鋭ウッドの第二短編集。		
著者紹介：イギリスの作家。コーンウォール出身、デヴォン在住。エクセター大学で文芸創作を学び、修士号を取得。2012年、『潜水鐘に乗って』を刊行しデビュー。同書でサマセット・モーム賞、ホリヤー・アン・ゴフ賞を受賞し、国際IMPACダブリン文学賞、ディラン・トマス賞の候補となったほか、収録短編「精霊たちの家」はBBC短編小説賞の次点に選ばれた。ほかの著作に長編Weathering（2015）、短編集The Sing of the Shore（2018）がある。		

31

『 バベル オックスフォード翻訳家革命秘史 』 上下 Babel, or the Necessity of Violence: An Arcane History of the Oxford Translators' Revolution		四六判上製 （海外文学セレクション）
R・F・クアン	古沢嘉通 訳	発売中
銀と、ふたつの言語における単語の意味のずれから生じる翻訳の魔法によって、大英帝国が世界の覇権を握る19世紀。英語とは大きく異なる言語を求めて広東から連れてこられた中国人少年ロピンは、オックスフォード大学の王立翻訳研究所、通称バベルの新入生となり、言語のエキスパートになるための厳しい訓練を受ける。だが一方で、学内には大英帝国に叛旗を翻す秘密結社があった。言葉の力を巡る本格ファンタジイ。ネビュラ賞、ローカス賞受賞作。		
著者紹介：1996年中国・広東省広州市生まれ。4歳の頃にアメリカに移住。ケンブリッジ大学で中国研究の修士号を、オックスフォード大学で現代中国研究の修士号を取得。2022年の長編『バベル オックスフォード翻訳家革命秘史』でネビュラ賞長編部門とローカス賞ファンタジー長編部門を受賞。同書は2024年の中国・華語科幻星雲賞翻訳部門、百万釣魚城科幻大賞国際小説部門も受賞した（陳陽訳）。		

32

『 イーディス・ハラー 』 ※ 仮題 Edith Holler		四六判上製
エドワード・ケアリー	古屋 美登里 訳	夏
語り手の「わたし」はノリッジの町に住む12歳の少女、イーディス。病弱で家の外に出られないので、毎日ベッドから外を見ている。イーディスが住んでいるのは曾祖父の名声で有名になったホラー劇場。イーディスの父で劇場主のエドガーが、4回目の再婚した相手は、悪徳商人として知られるアッティングの娘だった。劇場の資金援助のための結婚。イーディスは継母になじめずにいた。実はイーディスは劇場と結びついていて、彼女が一度でも出たら劇場は崩壊すると言われていた。ところが、継母はなんとかしてイーディスを外に連れ出そうとする。父と継母の結婚で部屋を奪われ、地下の台所のそばに追いやられるイーディス。なんと父も行方不明になってしまったのだ。著者による挿絵多数。		
著者紹介：1970年にイングランド東部のノーフォーク州で生まれる。これまでに『望楼館追想』（2000）、『アルヴァとイルヴァ』（2003）、〈アイアマンガー三部作〉（2013, 2014, 2015）、『おちび』（2018）、『呑み込まれた男』（2020）、『飢渴の人』（2021）、スケッチ集『B：鉛筆と私の500日』（2021）を発表。イラストレーター、彫塑家としても国際的に活躍。現在はアメリカ合衆国テキサス州で妻と子供ふたりと暮らしている。		

33

『 タイガー 』 ※ 仮題 Tyger		四六判上製
S F・サイド	杉田 七重 訳	夏
パラレルワールドの英国、生粋のロンドンっ子なのに両親が移民であるためにみんなから疎まれていた少年アダムは、ある日強盗に襲われる。暗い路地裏に引っ張り込まれたアダムを救ったのは、絶滅したはずのトラだった。助けてくれた感謝の印に、トラの肩に刺さっている矢を抜いてやると、トラは自分が無限の世界からやってきた不滅の神の化身だと告げる……。ウィリアム・ブレイク、フィリップ・プルマン、アラビアンナイトにインスパイアされた独特な物語世界。		
著者紹介：1967年、レバノン、ペイルート生まれ。英国の児童文学作家。デビュー作の『バージャック——メソポタミアンブルーの影』で2003年のネスレ・スマーティーズブック賞受賞。本作で2023年British Book Awardsの児童書フィクション部門を受賞。		

34

『 ツリーホーン、どんどん小さくなる 』 The Shrinking of Treehorn		四六判上製
フローレンス・パリー・ハイド エドワード・ゴーリー 絵	三辺 律子 訳	発売中
さいしょはクローゼットの棚に手が届かなかった。つぎに服がぶかぶかになった。思うんだけど、ぼくは縮んでるんじゃないかな。でも、おとうさんもおかあさんもあまり気にしていないみたい。お医者さんはそんな病気はないって言うし、学校の先生も解決してくれない。まだまだ縮み続けて……。英国児童文学の人気作家フローレンス・パリー・ハイドとイラストレーター、エドワード・ゴーリーがタッグを組んだナンセンスで可愛い物語。イラスト30点！		
著者紹介：フローレンス・パリー・ハイド（Florence Parry Heide）1919年生まれ。アメリカの作家。児童書、ミステリ、詩集などを多数執筆。若い読者の好奇心を刺激する作品に生涯を捧げた。『ヒヤシンスひめ そらにうかんだおんなのこの あっとおどろくおはなし』『Scary もしこんなことになっちゃったら』などが翻訳されている。2011年没。 エドワード・ゴーリー（Edward Gorey）1925年生まれ。アメリカの画家、絵本作家。独特のシニカルで不条理な世界観と韻を踏んだ文章、特徴のあるモノクロの線画のイラストの作品を数多く発表している。日本でも『ギャッシュリークラムのちびっ子たち——または遠出のあとで』『うろんな客』『不幸な子供』など多数の作品が翻訳されている。2000年没。		

35

『ツリーホーンのたからもの』 Treehorn's Treasure		四六判上製
フローレンス・パリー・ハイド エドワード・ゴーリー 絵	三辺 律子 訳	3 月
ツリーホーンはマンガを14冊持っていて、それぞれ19回ずつ読んでいた。おこづかいをもらえたら、新しいのを買うんだ。でもおとうさんは貯金しろっていう。ただ貯めたって意味がないのに……。おとうさんは「金のなる木はない」っていうけど、庭に出てみたら、はっぱが1ドル札になっていた！ 英国児童文学の人気作家フローレンス・パリー・ハイドとイラストレーター、エドワード・ゴーリーがタッグを組んだナンセンスで可愛い物語。イラスト30点！		

36

『ツリーホーンのねがい』 Treehorn's Wish		四六判上製
フローレンス・パリー・ハイド エドワード・ゴーリー 絵	三辺 律子 訳	5 月
ツリーホーンの誕生日、でもおとうさんもおかあさんも忙しそう。庭でひろったつぼをみがいたら、おじさんが出てきた。これって、おかあさんが待っている水道の検針員さん？ それとも精霊？ どうしても誕生日ケーキがほしいツリーホーンはおじさんにケーキをおねがいしてみたけど……。英国児童文学の人気作家フローレンス・パリー・ハイドのとぼけた味が可愛い物語。イラスト30点！		

37

『伝説とカフェラテ2 傭兵、書店をたてなおす』※仮題 Bookshops & Bonedust		創元推理文庫
トラヴィス・バルドリー	原島 文世 訳	5 月
オークやエルフやドワーフなどが存在する世界が舞台。賞金稼ぎの女傭兵のオーク、ヴィヴは、仕事に負った怪我を癒やすために滞在したある街で、潰れかけた書店を建て直すべく大奮闘。ついでにこれまでろくにすることもなかった読書の魅力に目覚めてゆく。今回も街の美味しいベーカリーのパンやビスケットが食欲をそそる、『伝説とカフェラテ』の前日譚となるコージーファンタジイ。		
著者紹介：米国の作家、オーディオブックのナレーター、コンピューターゲーム開発者。デビュー長編『伝説とカフェラテ 傭兵、珈琲（コーヒー）店を開く』は出版直後ニューヨークタイムズのベストセラーリストに掲載され、ヒューゴー賞、ネビュラ賞、ローカス賞の最終候補作になり、アスタウンディング新人賞を受賞している。		

38

『きらめく共和国』【文庫版】 República luminosa		創元推理文庫
アンドレス・バルバ	宇野 和美 訳	発売中
緑のジャングルと茶色い川をかかえる亜熱帯の町に、理解不能な言葉を話す9歳から13歳の子どもたちの集団がどこからともなく現れた。その存在は徐々に大人たちの日常に罅を入れていき、数ヶ月後、32人の子どもは一斉に命を落とした――。現代スペインを代表する作家が描く、子どものかわいらしさと暴力性、野生と文明、保護と支配。一読忘れがたき恐るべき寓話、待望の文庫化。		
著者紹介：1975年、スペインのマドリード生まれ。小説家、エッセイスト、写真家、脚本家、翻訳家として活躍。2001年に小説La hermana de Katiaでエラルデ小説賞の最終候補となり、世に知られるようになる。2006年に発表したVersiones de Teresaでトレンテ・バリエステル賞を、2017年刊行の本書『きらめく共和国』でエラルデ小説賞を受賞。イギリスのグランタ誌で2010年に発表された、スペイン語圏における注目の若手作家22人のひとりにも選ばれている、現代スペイン文学を代表する作家。2014年に児童書『ふたりは世界ー！』が翻訳刊行されている。		

39

『魔術師ペンリックと暗殺者』※仮題 The Assassins of Thasalon/Knot of Shadow		創元推理文庫
ロイス・マクマスター・ビジョルド	鍛冶 靖子 訳	7 月
ペンリックの妻ニキスと義兄アデリスの故郷セドニアで皇帝が崩御し、9歳の幼い王子が即位した。その後先帝の弟やその息子などが続いて死亡し、かつて將軍であったアデリスを殺害しようと目論んだ大臣の手に権力が集中しそうになっていた。先帝の娘ですでに成人して結婚もしている王女からアデリスに帰国して欲しいとの使者が届く。魔をつかう魔術師がからんでいるらしいことから、ペンリックはセドニアに向かう。〈魔術師ペンリック〉シリーズ第4弾。		
著者紹介：1949年アメリカ生まれ。86年にデビューしたのち、 わずか数年でヒューゴー賞、 ネビュラ賞をつぎつぎと受賞、一躍その地位を確固たるものとした。 身体的ハンデをものともせず知略と大胆さで窮地に挑むマイルズ・ヴォルコシガンを主人公にした、『戦士志願』に始まるスペースオペラ・シリーズが絶大な人気を博しており、2017年には同シリーズがヒューゴー賞シリーズ部門を受賞したほか、本シリーズでも同賞を受賞している。		

40

『英国幽霊屋敷譚傑作集』※仮題		創元推理文庫
夏来 健次（なつき・けんじ）編	夏来 健次・平戸 懐古 訳	5 月
英国では奇妙なことに幽霊が居着いている物件ほど高く評価される傾向にある。恐ろしい殺人事件や凶事が起きた建物を巡るツアーも盛んに行なわれ、「親しき隣人」としての霊の存在が現在に至るまで息づいている。古城、マナーハウス、僧院屋敷等、様々な建物に現われる幽霊たちの物語を集成する本書には、ヴィクトリア朝に執筆されたポオ的ゴシック譚から推理小説風の逸品、ゴーストハントものなど、バリエーション豊かな13編を収める。		
編者紹介：1954年新潟県生まれ。英米文学翻訳家。主な訳書に、ブロック『サイコ』、スティーヴンスン『ジキル博士とハイド氏』、ラムレイ『タイタス・クロウの事件簿』をはじめとする《タイタス・クロウ・サーガ》、ブラックウッド『ウェンディゴ』、ロジャーズ『赤い右手』『恐ろしく奇妙な死』『止まった時計』など。編訳書に『吸血鬼ラスヴァン 英米古典吸血鬼小説傑作集』『英国クリスマス幽霊譚傑作集』『ロンドン幽霊譚傑作集』などがある。		

41

『 タイトル未定 』	創元推理文庫
阿泉 来堂（あずみ・らいどう）	年内
引きこもりの娘の機嫌を取るように面倒を見てきたのに急に相手をしなくなる両親、ぼろぼろの服で町内を歩き回る老人、多発する不登校、どこか上の空で無気力な様子の人々……「子供から老人まで、元気に楽しく暮らせる町」がコンセプトの小さなニュータウンで、一体何が起きているのか。〈作家・那々木悠志郎〉シリーズの著者による、小さな町に忍び寄る不穏な影。	
著者紹介：2020年、第40回横溝正史ミステリ&ホラー大賞読者賞を受賞し『ナキメサマ』でデビュー。著書に〈作家・那々木悠志郎〉〈厲物霊媒師〉〈パベルの古書 猟奇犯罪プロファイル〉〈逆行探偵〉シリーズや、『死人の口入れ屋』『僕は■■■が書けない 朽無村の怪談会』などがある。	

42

『 竜の医師団3 』	創元推理文庫
庵野 ゆき（あんの・ゆき）	3月
カランバスに新たな竜が飛来……と思ったのも束の間、なんとその竜は卵をディドウスの巣に置いて去ってしまった。みんなが呆気にとられているあいだに卵はひび割れ、中から赤ん坊の竜が顔を出した。なんとディドウスは托卵されたのだ！ 予想もしない事態に老竜もカランバスの医師団も大慌て。なにせカランバスの医師団は幼竜については素人同然。この事態に竜の目をもつリョウと天オレオも巻きこまれ……。大人気シリーズ第3弾。	
著者紹介：徳島県生まれのフォトグラファーと、愛知県生まれの医師の共同ペンネーム。2019年『水使いの森』（応募時のタイトルは『門のある島』）で第4回創元ファンタジイ新人賞優秀賞を受賞。著作に『水使いの森』『幻影の戦』『叡智の覇者』『竜の医師団1』『竜の医師団2』がある。	

43

『 竜の医師団4 』	創元推理文庫
庵野 ゆき（あんの・ゆき）	4月
カランバスの元元首にして陰の主治医ニーナ師率いる〈医療交流団〉一行が、竜医療先進国イズルへ赴いた。目的は幼竜チューダの翼の治療法を聞き出すこと。そう簡単に教えてくれるとは思えないので、餌もちゃんと用意してある。竜の細胞を移植した目をもつリョウの存在だ。そのため成績優秀なレオやリリと一緒にリョウも同行したのだ。〈竜舞う国〉イズルは、沢山の竜が訪れる豊穡の地。そこでリョウは治療のためにイズルに降りた竜〈青のアルワン〉を見た。医療と人のあり方を問う、異世界本格医療ファンタジイ。	

44

『 〈オーリエラントの魔道師〉短編集 』※ 仮題	創元推理文庫
乾石 智子（いぬいし・ともこ）	秋
「夜色表紙」と呼ばれる、夜の写本師が書いた冊子に導かれた人々の運命を描く連作短編集、〈オーリエラントの魔道師〉シリーズ最新刊。	
著者紹介：山形県生まれ、山形県在住。1999年教育総研ファンタジー大賞受賞。スターウルフで目を覚まし、コナン・ザ・バーバリアンから最初の一步を助けてもらった。著書に『夜の写本師』『魔道師の月』『太陽の石』『オーリエラントの魔道師たち』『紐結びの魔道師』『沈黙の書』『赤銅の魔女』『白銀の巫女』『青炎の剣士』『イスランの白琥珀』『神々の宴』『久遠の島』『闇の虹水晶』『滅びの鐘』『月影の乙女』などがある。	

45

『 あしや超常現象調査2 』※ 仮題	四六判並製
上條 一輝（かみじょう・かずき）	年内
あしや超常現象調査の晴子と越野は、古い一軒家でボルターガイストに悩まされる人物の依頼を受ける。世界で起こったボルターガイスト現象から法則性を導き出したり、破天荒な対策を編み出したりして超常現象に立ち向かう二人。やがて現象は落ち着いた……と思った矢先に、依頼人が失踪してしまう。さらに晴子と越野の周囲までも奇怪な現象に蝕まれ始め――。数々の作家から絶賛を受け、発売後即重版し話題を呼んだ『深淵のテレバス』に続く、〈あしや超常現象調査〉シリーズ第2弾！	
著者紹介：1992年長野県生まれ。早稲田大学卒。現在は会社員の傍ら、webメディア〈オモコロ〉にて加味條名義でライターとして活動している。『深淵のテレバス』（応募時タイトル「バラ・サイコ」）で創元ホラー長編賞を受賞しデビュー。同作は、朝宮運河氏主催の読者投票企画「ベストホラー2024（国内部門）」で1位に選ばれた。	

46

『 星天の兄弟 』【文庫版】	創元推理文庫
菅野 雪虫（すがの・ゆきむし）	秋
ある王国の田舎町に、高潔な学者が住んでいた。学者には母親のちがう息子が二人おり、兄は賢く弟は美しくて評判だった。あるとき、王国の第二王子が学者の評判を聞きつけ、自分の家庭教師にと招いた。王子は聡明で学者も喜んで教えたのだが、王子に父王に対する反乱を企んでいるとの疑いがかけられ、学者も捕らえられてしまう。幼い兄弟の運命はその日を境に一変する。〈天山の巫女ソニン〉シリーズで人気の著者のファンタジイ文庫化。	
著者紹介：1969年、福島県南相馬市生まれ。2002年、「橋の上の少年」で第36回北日本文学賞受賞。2005年、「ソニンと燕になった王子」で第46回講談社児童文学新人賞を受賞し、改題・加筆した『天山の巫女ソニン1 黄金の燕』でデビュー。同作品で第40回日本児童文学者協会新人賞を受賞した。「天山の巫女ソニン」シリーズ以外の著書に、本書の前作にあたる『チボロ』『ヤイレスーホ』（ともに講談社）、『羽州ものがたり』（角川書店）、『女王さまがおまかせね』『女神のデパート』シリーズ(ともにポプラ社)、『アトリと五人の王』（中央公論新社）、『海のなかの観覧車』（講談社）がある。ペンネームは、子どものころ好きだった、雪を呼ぶといわれる初冬に飛ぶ虫の名からつけた。	

47

『 聖剣アルスルと傷の王 』	創元推理文庫
鈴森 琴（すずもり・こと）	2月
英雄アルスルの評判を聞きつけたネズミ人外の地動王は、アルスルを家来に迎えるため、三匹の大臣を遣わした。もし王の病を癒すことができたら、かつて城郭都市エンブラから奪った花の大図書館を与えるというのだ。大図書館を奪還すべく向かったアルスルと鍵の騎士団。そこで走訃王の角から鍛えた自らの剣に翻弄されるアルスルは、同じく人外兵器を操る若き公爵と出会う。変わり者の英雄アルスルの戦いと成長を描くシリーズ第3弾。	
著者紹介：東京都出身。玉川大学文学部卒業。2018年の第3回創元ファンタジイ新人賞に佳作入選した『忘却城の界人』を、2019年『忘却城』と改題してデビュー。他の著書に『忘却城 鬼帝女の涙』『忘却城 炎龍の宝玉』『皇女アルスルと角の王』『騎士団長アルスルと翼の王』がある。	

48

『 行方知れずの仲人屋 』	創元推理文庫
廣嶋 玲子（ひろしま・れいこ）	発売中
妖怪をさらうやつらの手から力弱い妖怪達を護るために四人の大妖の妖力を集めて作った貴重な結晶を、仲人屋の十郎が奪って行方をくらました。なぜ自分に何も言ってくれなかったのか？ あせびは信賴していた恋人の裏切りに打ちのめされ家にこもってしまふ。一方月夜公配下の烏天狗たちも必死で十郎の行方を捜していたが、なかなか見つからない。一方千吉は師匠朔ノ宮のもとで、千里眼の術の修行をしていた。大人気シリーズ第5弾！	
著者紹介：神奈川県生まれ。『水妖の森』で、ジュニア冒険小説大賞を受賞し2006年にデビュー。主な作品に、〈ふしぎ駄菓子屋 銭天堂〉シリーズ、〈妖怪の子預かります〉シリーズ、〈ナルマーン年代記〉三部作、〈十年屋〉シリーズ、〈秘密に満ちた魔石館〉シリーズ、〈鬼遊び〉シリーズ、『送り人の娘』、『火鍛冶（ほかじ）の娘』、『魂を追う者たち』、『鳥籠の家』、『銀獣の集い』などがある。	

49

『英国幻視の少年たち』（全3巻）	四六判上製
深沢 仁（ふかざわ・じん）	夏／秋／冬
「家に帰りたいのなら、服を裏返しに着てくれないか」妖精によって道に迷わされたとき、それがもっとも簡単で効果的な対策だと、小柄な赤毛の青年は俺に言った——英国ウィッツバリーに留学した皆川海は、自宅に現れた妖精を追い出すために海の叔母が呼びつけた英国特別幻想取締報告局のランス・ファーロングと出会う。同じ大学に通い、ともに幻想的生命体を見る能力を有するふたりの青年がゝ幻想事件。と向き合ってゆく姿を描いた傑作ファンタジイ。『眠れない夜にみる夢は』『ふたりの窓の外』の著者の初期代表作を全3巻の四六判単行本に纏め、各巻に新作短編および書籍未収録の掌編を追加したファン垂涎の愛蔵版。装画はポプラ社版とおなじハルカゼさんをお願いしています。彼らに、また会えます！	
著者紹介：2010年、詩集『狼少女は羊を逃がす』を自費出版。翌年、『R.I.P. 天使は鏡と弾丸を抱く』で第2回「このライトノベルがすごい！」大賞優秀賞を受賞、本格的な執筆活動をスタートさせる。20年には作品集『この夏のこともどうせ忘れる』で第12回高校生が選ぶ天竜文学賞を受賞。ほかの著書に『眠れない夜にみる夢は』『渇き、海鳴り、僕の楽園』（英国幻視の少年たち）シリーズ（全6巻）などがある。	

50

『新釈 小泉八雲「怪談」』※仮題	四六判単行本
雪富 千晶紀（ゆきとみ・ちあき）	夏
乗客のほぼ全員が亡くなったツアーバスの事故で大怪我を負い、後遺症で視力を失った芳一。〈奇跡の生存者〉3人のうち1人として一躍時の人となり、裕福な暮らしを送れるようになったが、他の生存者が次々と悲惨な交通事故死を遂げ……（「午前零時の講演会 新釈『耳無し芳一』」）。その他「ゆきおんな」「飴を買う女」「ろくろ首」「むじな」など有名作をモチーフとした、全5編を収録。小泉八雲の代表作『怪談』刊行から120年、令和に妖しくおぞましい世界が蘇る！ 日本ホラー小説大賞受賞作家が新境地を切り開く、傑作ホラー短編集。	
著者紹介：1978年愛知県生まれ。日本大学生物資源科学部卒。2014年、『死呪の島』で第21回ホラー小説大賞大賞を受賞しデビュー。受賞作は綾辻行人、貴志祐介、宮部みゆき選考委員各氏から高く評価され、満場一致で決定した。その他の著作に『黄泉がえりの町で、君と』『レスト・イン・ピース 6番目の殺人鬼』『ブルシャーク』『ALIVE 10人の漂流者』『ホワイトデス』がある。	

51

『怪奇幻想アンソロジー』（全3巻）※仮題	創元推理文庫
東 雅夫（ひがし・まさお） 編	夏
怪奇幻想ジャンルを代表する「死人のたたり」「妖怪大戦争」「愛しき怪物たち」のテーマごと、現在では読むことが難しい作家・作品や幻の名作群を中心に集めたアンソロジー。	
編者紹介：1958年神奈川県生まれ。早稲田大学卒。文芸評論家、アンソロジスト。『幻想文学』と『幽』の編集長を歴任。著書に『遠野物語と怪談の時代』（日本推理作家協会賞受賞）、『百物語の怪談史』ほか、編纂書に『日本怪奇小説傑作集』全三巻（紀田順一郎と共編）、『文豪妖怪名作選』『猫のまぼろし、猫のまどわし』ほか多数がある。	

海外ミステリ Lineup for 2025 : Foreign Mysteries

52

Svörtuloft ※原題	四六判並製	
アーナルデュル・インドリダソン	柳沢 由実子 訳	夏
レイキャヴィク警察の犯罪捜査官シュグルデュル＝オーリは高校時代の友人にある相談を持ちかけられた。義理の兄夫妻がパートナー交換パーティに参加し、その写真をとられて脅迫されているので助けて欲しいというのだ。頼みを聞いて脅迫者である女性のもとを訪れたシュグルデュル＝オーリだったが、そこには頭から血を流している女性の遺体が……。シリーズ第8弾。		
著者紹介：1961年アイスランドの首都レイキャヴィク生まれ。父親は高名な作家インドリディ・G・トーステンソン。アイスランド大学で歴史学と映画を専攻し、卒業後新聞社に就職。その後、フリーの映画評論家になる。1997年にレイキャヴィク警察の犯罪捜査官エーレンデュルを主人公とするシリーズ第一作Synir duftsinsで作家デビュー。3作目にあたる『湿地』と次の『緑衣の女』で2年連続してガラスの鍵賞を受賞。『緑衣の女』では、英国のCWAゴールドダガー賞も受賞している。		

53

Playing It Safe（金庫破りときどきスパイ 3）※原題	創元推理文庫	
アシュリー・ウィーヴァー	辻 早苗 訳	夏
1940年10月のロンドン。金庫破りのエリーの前に、陸軍のラムゼイ少佐が現れた。イギリス北部の港湾都市サンダーランドに赴き、現地の人間と親しくなるように、という指示を受ける。サンダーランドに到着すると、往来の激しい通りで背後からぶつかられ、トラックに轢かれそうになる。親切な男性に助けられてことなきを得るが、少佐の手配してくれた宿に入った直後、先ほど助けてくれた男性が前の道路で倒れて亡くなる。これは偶然か、それとも？ エリーは空軍パイロットを装った少佐と男性の死について探っていくが……。凄腕の金庫破りと堅物の青年少佐がふたたび活躍！		
著者紹介：アメリカ、ルイジアナ州オークデール在住。14歳のときから図書館で働いており、現在もルイジアナ州アレン郡図書館に勤めている。2014年に『奥方は名探偵』で作家デビュー。同作は2015年のアメリカ探偵作家クラブ（MWA）賞最優秀新人賞の候補となった。2021年に『金庫破りときどきスパイ』を刊行し好評を博す。続編に『金庫破りとスパイの鍵』（2022）、Playing It Safe（2023）、Locked in Pursuit（2024）がある。		

54

The Librarian Always Rings Twice ※原題	創元推理文庫	
マーティ・ウィンゲイト	藤井 美佐子 訳	年内
わたし、ヘイリー・パークがバースにある初版本協会のキュレーターに就任してから1年が経とうとしていた。協会はミステリ黄金時代の女性作家の初版本収集家だった故レディ・ジョージアナ・ファウリングが設立したもので、彼女の自宅だったミドルバンク館にある。わたしと一緒に協会の運営を担っているのが、レディの長年にわたる親友で、個人秘書を務めていたミセス・ウルガー。現在は協会の終身事務局長だ。このたび、協会の認知度アップや新たな会員の確保を狙い、〈初版本図書館〉である図書室を週に一度、水曜日の午後だけ一般に公開する運びとなった。一方、レディのろくでなしの甥チャールズ・ヘンリー・ディルがわたしのアシスタントとして協会で働きたいと申し出てくる。レディが亡くなってから4年間というもの、あの手この手で遺産をかすめ取ろうと策略を働いてきたディルをおとなしくさせることができるならと、理事会は採用を決定してしまう。そんな折、レディの孫だと名乗る男が現われる。レディに子はいなかったはずだが……。		
著者紹介：アメリカのシアトル生まれ。ガーデニング関連の実用書を発表したのち、小説家に転向。イングランドを舞台に、テキサス出身の園芸家が活躍するコージーマステリシリーズや、第二次世界大戦中の女性パイロットの活躍を描くGlamour Girls（2021）などを発表している。		

55

『 シャム双子の謎 』【新訳版】 The Siamese Twin Mystery		創元推理文庫
エラリー・クイーン	中村 有希 訳	秋
【名作ミステリ新訳プロジェクト】旅行中に突然の山火事に襲われ、命からがら近くの山荘に逃げこんだエラリー・クイーンと父のクイーン警視。不安な一夜を過ごした翌朝、山荘の主が何者かに射殺されていた。刻一刻と火の手が迫る、警察や鑑識の応援も望めない孤絶した環境で、エラリー決死の推理が始まる。手がかりは被害者が握りしめていたトランプのカード——「スベードの6」！ クローズドサークル×ダイニングメッセージの謎で読者に挑戦する、国名シリーズ第7弾！		
著者紹介：アメリカの作家。フレデリック・ダネイ（1905 - 82）とマンフレッド・B・リー（1905 - 71）の、いとこ同士による合同ペンネーム。1929年、出版社のコンテストに投じた長編『ローマ帽子の謎』でデビュー。同書を第一作とする〈国名シリーズ〉と、当初はバーナビー・ロス名義で発表されたドルリー・レーン四部作でミステリ界に不動の地位を得る。その後も作者と同名の名探偵が活躍する傑作をいくつも著し、ダネイは雑誌〈エラリー・クイーンズ・ミステリ・マガジン〉で多数の作家を世に送り出したほか、ミステリ研究者、アンソロジストとしても功績を残した。「アメリカの推理小説そのもの」と評された、巨匠中の巨匠である。		

56

『 骨と作家たち 』 The Bones of the Story		創元推理文庫
キャロル・グッドマン	栗木 さつき 訳	4 月
著名な作家でもあった大学教授が悲劇的な死を遂げてから25年。その追悼式典が開かれる前日、教授の教え子たちが大学の施設に一泊することになった。かつて作家を志し、教授の下で創作に鎬を削った彼らが旧交を温めるなか、激しくなっていく吹雪。ある部屋のベッドではカラスの死骸が発見され、ベストセラーを生んだ同級生のひとは姿を見せようとしない。そしてその翌朝、階段の下で首の骨を折ったひとりの死体が発見される——。ベテラン作家が贈る、どんでん返し連続が待つ、練達の傑作ミステリ！		
著者紹介：作家。ヴァッサー大学卒業後、ラテン語教師として働く。2002年、『乙女の湖』でデビュー。アメリカの著名な書評家オットー・ペンスラーから「少女たちの青春期を鮮やかに描きだしたミステリ」と高く評価された。NY州在住。メアリー・ヒギンズ・クラーク賞を二度受賞。著書は23作、16カ国で翻訳されている。		

57

『 セヴン・ダイアルズ 』【新訳版】 The Seven Dials Mystery		創元推理文庫
アガサ・クリスティ	山田 順子 訳	4 月
【名作ミステリ新訳プロジェクト】鉄鋼王に貸し出し中のチムニーズ館に客として滞在していた若者の一人が死亡した。館の本来の主ケイタラム卿の娘で好奇心旺盛で行動的なバンドルは、若者の死に疑問を抱きバトル警部の忠告も聞かず勝手に調べ始める。そんな彼女の目の前で更なる死が。死の間際に被害者が残した「セヴン・ダイアルズ」という言葉は果たして何を意味するのか？『チムニーズ館の秘密』に続くミステリの女王の冒険小説、バトル警部シリーズ。		
著者紹介：イギリスの作家。1890年生まれ。1920年に『スタイルズ荘の怪事件』でデビューして以来、長編と短編集あわせて100冊を超す作品を発表した。巧妙な着想と錯綜したプロット構成に、独創的なトリックの加わった『アクロイド殺害事件』や『オリエント急行の殺人』『ABC殺人事件』といった多くの作品が、古典的名作としての評価を確立している。71年には長年の功績により、大英帝国勲章（DBE）を授与された。〈ミステリの女王〉たる彼女の創造した名探偵には、エルキュール・ポワロやミス・マーブルなどがいる。76年没。		

58

Bleeding Heart Yard ※ 原題		創元推理文庫
エリー・グリフィス	上條 ひろみ 訳	夏
ロンドンにある学校の同窓会で、下院議員の男性が死亡した。刑事ハービンダー・カーが現場に赴くと、部下の刑事キャシーが夫とともに出席していたことが判明する。被害者の死因はインスリン中毒で、ゴミ箱から発見された注射器からは、一型糖尿病であるキャシーの指紋が発見された。彼女は席を立った際に誰かに盗まれたかもしれないと言う。キャシーも容疑者に含めつつ、ハービンダーは捜査を始める。被害者と同じ学年で、彼が親しくしていたのは女優やミュージシャンなど個性的な有名人ばかり。彼らに事情聴取し、21年前に不可解な死があったことが明らかになるが……。巧みな伏線の妙を味わえる、端正な謎解きミステリ。『見知らぬ人』の著者最新長編！		
著者紹介：イギリスの作家。〈サンデー・タイムズ〉紙ベストセラーリストにランクインした法医考古学者ルース・ギャロウェイ・シリーズと、エドガー・スティーヴンス警部と戦友マックス・メフィストのミステリ・シリーズで名声を得る。アメリカ探偵作家クラブ（MWA）のメアリー・ヒギンズ・クラーク賞と英国推理作家協会（CWA）の図書館賞を受賞。『見知らぬ人』では、2020年のMWA賞最優秀長編賞を受賞した。続編の『窓辺の愛書家』はCWA賞最優秀長編賞最終候補作となった。		

59

Last Word to the Wise （ クリスティ書店の事件簿 2 ）※ 原題		創元推理文庫
アン・クレア	谷 泰子 訳	5 月
美しい雪山の書店、ブック・シャレーを切り盛りするエリーと姉のメグは、いここが始めた結婚仲介業のモニターをしぶしぶ務めることになった。本好きと本好きを、本の好みをもとに結びつける——そんな図書館ディナーの翌日、メグの見合い相手が殴殺体で発見される。前夜、被害者宅を訪ねたメグに疑いの目が注がれるなか、雪原の劇場では第二の事件が起きて……。手がかりは、現場から消えたクリスティの戯曲『ねずみとり』？ 書店ミステリシリーズ第2弾！（『雪山書店と嘘つきな死体』続編）		
著者紹介：2022年『雪山書店と嘘つきな死体』で小説家デビュー。著作として〈クリスティ書店の事件簿〉シリーズのほか、サイクリングツアー会社の経営者が探偵役のミステリA Cyclist's Guide to Crime & Croissantsがある。現在はコロラドに居を構え、飼い猫とともにキッチン窓から雪山を眺めて暮らす。		

60

Finlay Donovan Jumps the Gun (サスペンス作家が人をうまく殺すには 3) ※ 原題		創元推理文庫
エル・コシマノ	辻 早苗 訳	年内
サスペンス作家のフィンレイは、またもや窮地に陥っていた。フィンレイがロシアン・マフィアに借りを作ったせいで、殺し屋 Easy Cleanの正体を探り出せと脅されているのだ。期限はたったの2週間。殺し屋の正体は警察関係者らしいとしかつかめておらず、フィンレイは手がかりを得るために一週間の市民向け警察学校体験入学に参加することにする。同居人のヴェロと警察学校の授業を受けながら怪しげな人物のオフィスを探るが……。殺し屋の正体を暴かなければ自分や家族の命が危険に！ 巻きこまれ系ジェットコースター・サスペンス・シリーズ第3弾！		
著者紹介：アメリカの作家。2014年刊行のNearly Goneは国際スリラー作家協会のベストYA賞を受賞、アメリカ探偵作家クラブ賞ベストYA賞の最終候補となった。2021年刊行の初の一般向けミステリ『サスペンス作家が人をうまく殺すには』は、ニューヨーク公共図書館が選ぶ2021年ベストブックの一冊に選ばれた。その他の著作にFinlay Donovan Jumps the Gun(2023)などがある。現在は夫および2人の息子と共にバージニア州で暮らしている。		

61

Five Survive ※原題		創元推理文庫
ホリー・ジャクソン	服部 京子 訳	夏
アメリカの18歳の高校生レッドは、キャンピングカーで友人3人、お目付け役の大学生2人と春休みの旅行に出かけていた。だが人里離れた場所で車がパンク。携帯の電波も届かず、誰も助けてくれない。なんとかスペアタイヤに交換した矢先、いきなり何者かに狙撃されて残りのタイヤとガソリンタンクを撃ち抜かれてしまう。午前零時を過ぎたころ、知らぬ間に車のサイドミラーにかけられたトランシーバーで、スナイパーが交信を始めた。その男は6人全員を知っており、そのうちのひとりがある秘密を握っていると主張し、それが誰か特定しろと要求してきた。タイムリミットは午前6時。レッドたちは必死で助けを求めつつ、誰がターゲットなのかを探り始める。車という閉ざされた空間で秘密が明らかになるとき、何が起こるのか……？ 『自由研究には向かない殺人』の著者が放つ、本国で初版50万部の超絶サスペンス！		
著者紹介：イギリス、バッキンガムシャー出身の作家。子どものころから物語を書きはじめ、15歳で最初の小説を完成させた。ノッティンガム大学で言語学と文芸創作を学び、英語の文学修士号を取得。2019年に刊行したデビュー作『自由研究には向かない殺人』は英米でベストセラーとなり、2020年のブリティッシュ・ブックアワードのチルドレンズ・ブック・オブ・ザ・イヤーを受賞したほか、カーネギー賞の候補作となった。続編に『優等生は探偵に向かない』『卒業生には向かない真実』がある。その他の著作はFive Survive（2022）。現在はロンドンに住む。		

62

『銃と助手席の歌』 No Country for Girls		創元推理文庫
エマ・スタイルズ	坏 香織 訳	発売中
高校を退学になったばかりの少女チャーリーは、ある盗みをきっかけに姉の恋人と争いになり、抵抗の果てに彼を殺してしまう。その場に居合わせた見ず知らずの大学生ナオの協力により、死体を湖に捨て、死体の車でハイウェイを北へ走りだす。しかし道中、謎は尽きない。ナオはなぜ警察を呼ばなかったのか？ 背後に迫るのは何者か？ そして、車に積まれた十キロの黄金はどこからきたのか――。やがて響く銃声。炎天下のオーストラリアを舞台に帰る家なき少女たちの闘いを描く、ノンストップのクライムサスペンス！		
著者紹介：ロンドン生まれの作家。西オーストラリア州パースで育ったのち、長く獣医師として働く。イースト・アングリア大学で文学（犯罪小説）の修士号を取得。2022年『銃と助手席の歌』でデビュー。本書は23年ウィルバー・スミス冒険小説賞を受賞したほか、英国推理作家協会賞（新人部門）ならびにオーストラリア推理作家協会賞（新人部門）の最終候補にも選出された。犯罪小説界の新鋭として注目を集めている。		

63

Nine Lives ※原題		創元推理文庫
ピーター・スワンソン	務台 夏子 訳	夏
ある日、アメリカ各地の9人に、自分の名を含む9つの名前だけが記されたリストが郵送されてくる。差出人も意図も不明。受け取った人々は、さして気にもとめない。まず、メイン州でホテルを経営する老人が溺死した。そして翌日、マサチューセッツ州郊外でランニング中の男性が背中を撃たれる。ニューヨーク州のFBI捜査官であるジェシカはリストに掲載されている人々の特定にかかる。自分も、死んだ老人と同じリストを受け取っていたのだ。次は誰が殺されるのか？ 職業も居住地も違う9人のつながりは何なのか？ 『そして誰もいなくなった』に捧げる、驚愕の展開の連続で読者を翻弄する極上のミステリ！		
著者紹介：アメリカ、マサチューセッツ州出身。コネチカット州のトリニティ・カレッジ、マサチューセッツ大学アマースト校、エマーソン・カレッジに学ぶ。2014年に『時計仕掛けの恋人』でデビュー。2015年に刊行された第二長編『そしてミランダを殺す』は、英国推理作家協会（CWA）賞のイアン・フレミング・スチールダガー部門で最終候補となった。その他の著作に『ケイトが恐れるすべて』『アリスが語らないことは』、Every Vow You Break（2021）、Nine Lives（2022）、The Kind Worth Saving（2023）などがある。		

64

『ロンドン・アイの謎』【文庫版】 The London Eye Mystery		創元推理文庫
シヴォーン・ダウド	越前 敏弥 訳	4 月
12歳のテッドは、巨大観覧車ロンドン・アイにのりにでかけた。テッドと姉のカット、サリムの三人でチケット売り場の長い行列に並んでいたところ、見知らぬ男が話しかけてきて、自分のチケットを一枚ゆずってくれると言う。テッドとカットは下で待っていることにして、サリムだけが、たくさんの乗客といっしょに大きな観覧車のカプセルに乗りこんでいった。だが、一周しておりてきたカプセルに、サリムの姿はなかった。サリムは、閉ざされた場所からどうやって、なぜ消えてしまったのか？ 「ほかの人とはちがう」頭脳を持つ少年が謎に挑む。カーネギー賞受賞作家の清々しい謎解き長編ミステリ！		
著者紹介：1960年、ロンドン生まれ。オックスフォード大学卒業後、国際ベンクラブに所属し、作家たちの人権擁護活動に長く携わった。2006年、『すばやい澄んだ叫び』で作家デビューし、ブランフォード・ボウズ賞とアイリーシュ・ディロン賞を受賞、カーネギー賞の最終候補にもなった。2007年に『ロンドン・アイの謎』を発表したが、わずか2か月後の8月、乳がんのため47歳で逝去。同作はビスト最優秀児童図書賞（現・KPMGアイルランド児童図書賞）を受賞した。死後に『ボグ・チャイルド』が発表され、2009年のカーネギー賞を受賞している。遺された構想をもとにパトリック・ネスが執筆した『怪物はささやく』もカーネギー賞を受賞した。		

65

『グッゲンハイムの謎』【文庫版】 The Guggenheim Mystery		創元推理文庫
ロビン・スティーヴンス 原案：シヴォーン・ダウド	越前 敏弥 訳	秋
夏休みを迎えた12歳のテッドは、母と姉といっしょにニューヨークを訪れた。グロリアおばさんはグッゲンハイム美術館の主任学芸員で、休館日に特別に入館させてくれた。ところが館内を見学していると、突然、何かのきついにいと、白くて濃い煙が。火事だ！ テッドたちは、大急ぎで美術館の外に避難した。だが火事は見せかけで、館内の全員が外に出た際に、カンディンスキーの名画〈黒い正方形のなかに〉が盗まれていたのだ。しかも、おばさんが犯人だと疑われて逮捕されてしまう。なんとしても絵を取りもどして、おばさんの無実を証明しなければ。「ほかの人とはちがう」不思議な頭脳を持つテッドは、絵の行方と真犯人を探すため謎解きに挑む。		
著者紹介：1988年アメリカ生まれ。3歳からイギリスで育つ。2014年のデビュー作『お嬢さま学校にはふさわしくない死体』が好評を博してシリーズ化された。『貴族屋敷の嘘つきなお茶会』『オリエント急行はお嬢さまの出番』が翻訳刊行されている。2015年にシヴォーン・ダウド基金から『ロンドン・アイの謎』の続編執筆を依頼され、2017年に『グッゲンハイムの謎』として刊行。		

66

『こわされた少年』 His Own Appointed Day		創元推理文庫
D・M・ディヴァイン	野中 千恵子 訳	発売中
イアン・ブラットは16歳の高校生。霧の濃い水曜の午後、自転車で学校を出たのを最後に消息を絶った。当初は単なる家出と思われたが、姉アイリーンの依頼で赴任間もないニコルソン警部の指揮のもと警察が搜索を開始する。かつて優等生だったが、ある時期から不良の仲間入りをし、不自然に金回りがよくなっていたイアン。いったい少年に何が起きたのか？ 犯人当ての名手ディヴァインが読者の盲点を鮮やかに突く、傑作本格ミステリ！		
著者紹介：1920年スコットランド生まれ。大学職員時代、英国有数のミステリ出版社コリンズ社の探偵小説コンクールに投じた『兄の殺人者』がアガサ・クリスティから高く評価され、執筆活動に入る。デビュー以降もアントニイ・パウチャー、H・R・F・キーティングら具眼の士より絶賛される、極めて完成度の高い本格作品をものした。死後出版の『ウォリス家の殺人』を含め、その生涯で13作の推理小説を発表した。1980年没。		

67	『 爬虫類館の殺人 』【新訳版】 He Wouldn't Kill Patience	創元推理文庫
	カーター・ディクスン	白須 清美 訳
		夏
	【名作ミステリ新訳プロジェクト】第二次世界大戦下、空襲の危機にさらされる首都ロンドンの一角に建つ大蛇、毒蛇、蜘蛛などを集めた施設——爬虫類館の一室で、館長と一匹の大蛇がガス中毒で死亡しているのが見つかる。部屋は内側から嚴重に目張りされた密室で、状況は自殺としか思えない。だが、館長はかわいがっていた蛇を道連れになどするだろうか？ 名探偵ヘンリ・メリヴェール卿が出馬し、ドタバタ騒ぎの果てに明かされる真相とは……？ 巨匠カー中期の傑作、ヘビ年に新訳で登場。	
	著者紹介：アメリカの作家。1906年生まれ。〈不可能犯罪の作家〉といわれるカーは、密室トリックを得意とし、怪奇趣味に彩られた独自の世界を築いている。本名ではフェル博士、ディクスン名義ではヘンリ・メリヴェール卿（H・M）が活躍する。作風は『赤後家の殺人』等初期の密室ものから、『皇帝のかぎ煙草入れ』など中期の心理トリックもの、そして『死の館の謎』等晩年の歴史ものへと変遷した。1977年歿。	

68	『 ボニーとクライドにはなれないけれど 』 On the Road with Del & Louise	創元推理文庫
	アート・テイラー	東野 さやか 訳
		3月
	コンビニ店員のルイズは、学費のためにその店へ強盗にやってきた青年デルと恋に落ちた。トレーラーハウスで暮らしていたが、デルの学位取得をきっかけに、不動産業を営むデルの姉を手伝うというまともな人生を始めることにする。だが旅に出たふたりには次々に事件や犯罪が降りかかり、そのたびにあらたな土地へ向かう羽目に。窃盗を疑われ、ワイン泥棒に加担し、結婚式を挙げようとした教会では強盗の人質となり……。果たして、デルとルイズは安住の地を見つけられるのか？ チャーミングな恋人たちを描く連作ミステリ短編集。	
	著者紹介：アメリカ、ノース・カロライナ州出身の作家、書評家。アンソロジーの編者としても活躍。ジョージ・メイソン大学の英語学教授。アメリカ探偵作家クラブ賞最優秀短編小説賞、アガサ賞最優秀短編賞、その他アンソニー賞、マカヴィティ賞なども受賞歴がある短編小説の名手。『ボニーとクライドにはなれないけれど』はアガサ賞最優秀デビュー長編賞受賞作となり、アンソニー賞とマカヴィティ賞の最優秀新人賞最終候補になった。	

69	Pane（P 分署捜査班 5） ※ 原題	創元推理文庫
	マウリツィオ・デ・ジョバンニ	直良 和美 訳
		秋
	ナポリの町で早朝、パン屋の主人が撃たれて殺された。近所の人たちに愛された店をいとなむ、実直だが平凡な男がなぜ？ P分署の面々が捜査を開始すると、マフィア相手の裁判で証言者として出廷していたことが判明する。殺人は証言に対する報復と判断し、一家を壊滅させるチャンスと見たマフィア対策班が介入してくるが、ロヤコーノ警部は犯人はマフィアではなく、別にいると考えていた。署の存続を賭け、捜査班はマフィア対策班と真っ向から対立することになる……21世紀の〈87分署〉シリーズ最新刊！	
	著者紹介：1958年ナポリ生まれ。銀行に勤めるかたわら応募した文学コンテストで高く評価され、2006年に長編Le lacrime del pagliaccioで本格的に作家デビュー。同書を第一作とする〈リチャルディ警視〉シリーズと、ロヤコーノ警部を主人公に13年刊の『P分署捜査班 集結』から開始した〈P分署捜査班〉シリーズのふたつで知られる。〈P分署捜査班〉は17年より本国イタリアで連続テレビドラマの放送が始まった。	

70	『 スケープゴート 』 The Scapegoat	創元推理文庫
	ダフネ・デュ・モーリア	務台 夏子 訳
		発売中
	【名作ミステリ新訳プロジェクト】人生に絶望していた英国人ジョンは、旅先のフランスで自分と瓜ふたつの男ジャンに出会う。引っ張られるままに飲んだ翌朝目覚めるとジャンの姿はなく、持ち物すべてが消えていた。呆然とするジョンは、彼をジャンと信じて疑わない運転手に流されるまま家に連れていかれる。ジャンは伯爵だが所有する工場は経営が危うく、家族間はぎくしゃくしていた。手探りでジャンになりすますジョンだったが……。名手による予測不能なサスペンス。	
	著者紹介：1907年ロンドン生まれ。祖父が高名な作家で画家、父が舞台俳優兼演出家、母が舞台女優という芸術家一家の三人姉妹の次女として生まれる。1931年作家デビュー、1938年の『レベッカ』が世界的なベストセラーとなった。コーンウォールの荒々しい自然を愛し、夫との間に三人の子供をもうけた。1989年没。	

71	Döden går på visning ※ 原題	創元推理文庫
	アンデシュ・デ・ラ・モッツ&モンス・ニルソン	久山 葉子 訳
		秋
	スウェーデンで最も美しい場所のひとつとされる南部のエステリエン地方。古き良き雰囲気を残した小さな村の景観を潰すかのように、海岸ぞいにコンクリートの巨大な物件が建つ。そのプロジェクトを手がけていたのはアメリカ帰りの気が強くて嫌われ者のインフルエンサー、イエシー・アンデションだった。そんな彼女が内覧の日に殺される。ストックホルムから来たお洒落なエリート中年警官と地元の駆け出しの若い女性警官がコンビを組んで事件の解明に挑む。スウェーデンを代表するミステリ作家のひとりアンデシュ・デ・ラ・モッツが共著者と組んだシリーズ第1弾。	
	著者紹介：アンデシュ・デ・ラモッツ（Anders de la Motte）1971年生まれ。元警官で2010年にミステリ作家としてデビュー、日本でも翻訳されている『監視ごっこ』『炎上投稿』などのIT犯罪系のシリーズのほか に3つのシリーズが人気を博している。今回はじめて共著者と共に軽いミステリに挑戦。共著者のモンス・ニルソン（Mans Nilsson）は1977年生まれ。脚本家、テレビのホストコメディアンでもある。	

72	『 修道女フィデルマ短編集 6 』 ※ 仮題	創元推理文庫
	ピーター・トレメイン	田村 美佐子 訳
		夏
	法廷弁護士にして裁判官の資格を持つ美貌の修道女フィデルマが、アイルランド各地を巡り難事件を解決する人気シリーズの短編集。フィデルマが巡礼先で遭遇した聖人の亡骸をめぐる不可解な事件を描く「祝祭日の死体」など5編を収録。	
	著者紹介：1943年英国生まれ。本名はピーター・ベレスフォード・エリス。ケルト関係の学術書を数多く著し、学会の会長や理事もつとめる著名なケルト学者でもある。また小説家としても精力的に活動しており、ピーター・トレメイン名義の代表作《修道女フィデルマ・シリーズ》をはじめ、ホラーやファンタジー、ピーター・マッカラン名義のスリラーなどを刊行している。	

73	Intrigue in Istanbul ※ 原題	創元推理文庫
	エリカ・ルース・ノイバウアー	山田 順子 訳
		秋
	歴史学者の父の足跡を辿ったジェーンとレドヴァースは、彼がオスマントルコの皇帝の宝の謎を追って向かったトルコのイスタンブールで謎の失踪を遂げていることを知る。ジェーンとレドヴァースは手掛かりを追ってイスタンブールからハンガリーのブダペストに向かうオリエント急行に。そこで殺人事件が……。旅情を誘う〈ジェーン・ヴンダリー・シリーズ〉4巻目。	
	著者紹介：11年間を軍隊で、2年間を警察官として、その後1年間を高校の英語教師として過ごしたのち作家となる。デビュー作『メナハウス・ホテルの殺人』でアガサ賞の最優秀デビュー長編賞を受賞、以降『ウェッジフィールド館の殺人』、『豪華客船オリンピック号の殺人』、Intrigue in Istanbulと、シリーズ続巻を刊行している。	

81

『 マーブル館殺人事件 』 Marble Hall Murders		創元推理文庫
アンソニー・ホロヴィッツ	山田 蘭 訳	年内
クレタ島での生活に区切りをつけて、ロンドンに帰ってきたわたし、スーザン・ライランドは、あのなつかしいクラウチ・エンドで新たなスタートを切ることにする。フリーランスとして北欧ミステリの編集をしていたところ、思いもよらない仕事が舞い込んできた。《アティカス・ピュント》シリーズの続編を出すことが決まり、若手小説家に執筆を依頼したので、かつてシリーズを担当していたわたしにぜひ編集を頼みたいというのだ。かくしてわたしは、またしても《アティカス・ピュント》シリーズの続編を読みはじめる……。『カササギ殺人事件』『ヨルガオ殺人事件』に続く、シリーズ第3弾！		
著者紹介：イギリスを代表する作家。ヤングアダルト作品〈女王陛下の少年スパイ！ アレックス〉シリーズがベストセラーに。また、人気テレビドラマ『刑事フォイル』の脚本、コナン・ドイル財団公認の〈シャーロック・ホームズ〉シリーズの新作長編『シャーロック・ホームズ 絹の家』などを手掛ける。アガサ・クリスティへのオマージュ作『カササギ殺人事件』では『このミステリーがすごい!』『本屋大賞（翻訳小説部門）』の1位に選ばれるなど、史上初の7冠を達成。その続編の『ヨルガオ殺人事件』も絶讃を博した。また、〈ホーソーン&ホロヴィッツ〉シリーズ『メインテーマは殺人』『その裁きは死』でも、年末ミステリランキングを完全制覇している。		

82

『 ドッグパーク探偵団 』 ※ 仮題 The Dog Park Detective		創元推理文庫
ブレイク・マーラ	高橋 恭美子 訳	夏
活気に満ちたイーストロンドンの街、運河と緑豊かな公園を舞台に、様々な犬種の犬たちと愛情溢れる飼い主たちが繰り広げられるコージームステリ。パトリッジパークの草むらで男性の遺体が見つかった。発見者は公園に集まる飼い主グループのメンバー、正確にはその飼い犬たちだ。犬の飼い主ならきっと経験がある（かもしれない）ネタ満載のミステリ。		
著者紹介：ロンドン在住、マーラ・ティモンのペンネームでスリラーを2作発表している。本書は飼い犬のミニチュアダックスフントと地元のドッグパークコミュニティにインスパイアされて書いた。		

83

『 悪人すぎて憎めない 』 Angels in the Moonlight		創元推理文庫
クイーム・マクドネル	青木 悦子 訳	3 月
バニー・マガリー刑事には、かつて最高の相棒がいた――1999年、ダブリンでは武装強盗が頻発していた。現金輸送車を襲う鮮やかな手口に、警察本部はカーター一味に目をつける。さらに、彼らが大量のコカイン密輸を計画しているという情報を得た。特捜班に入ったバニーと相棒のグリーンゴは、一味を監視する業務につくが、ジャズ・シンガーの黒人女性シモンと出会ったことで、全員の運命が思わぬほうへ変わりはじめ……。ノンストップ・サスペンス『平凡すぎて殺される』に連なる衝撃のバニー過去編登場！		
著者紹介：アイルランドのリムリック生まれ、ダブリン育ち。小説家、TVの放送作家、コメディアン。小説家としては全5作の〈ダブリン三部作（トリロジー）〉シリーズ、〈バニー・マガリー〉シリーズなど、ダブリンやマンチェスターを舞台にしたミステリや犯罪小説を執筆している。『平凡すぎて殺される』は2017年に、アイルランドのインディペンデント出版を奨励するCAPアワードの最優秀長編小説部門にノミネートされ、I Have Sinned は、2019年のキンドル・ストーリーテラー賞の最終候補となった。その他の著作にAngels in the Moonlight（2017）、Last Orders（2018）などがある。		

84

The Lady from Burma（ ロンドン謎解き結婚相談所 5 ） ※ 原題		創元推理文庫
アリスン・モントクレア	山田 久美子 訳	年内
1946年11月。〈ライト・ソート結婚相談所〉にビルマ出身のアデラという既婚女性が訪れる。ビルマで英国人博物学者と結婚し、戦争で英国に逃れてきたが、がんで余命わずかとなってしまったという。彼女は、森で新種の昆虫を見つけることにしか興味がない夫が孤独な余生を送らずにすむよう、自分の死後に後添えをさがしてほしいと依頼する。ところが数日後、エセックス州の森で彼女の遺体が発見されてしまう。自殺と見なされたものの、地元警察の若い巡査だけが殺人を疑い、アイリスの協力を仰ぐが……。元スパイのアイリスと上流階級出身のグウェン、正反対のふたりの謎解き！ 大人気シリーズ第5弾。		
著者紹介：アガサ・クリスティのペーパーバックと、ジェームズ・ボンドものの映画にのめりこんで育った結果、犯罪小説やスパイ小説に夢中になり、現在は史実の謎めいた断片から着想を得て小説を執筆している。2019年に『ロンドン謎解き結婚相談所』でデビュー。続編の『王女に捧ぐ身辺調査』『疑惑の会合者』『ワインレッドの追跡者』、The Lady from Burmaが刊行されている。		

85

『 17 の鍵 』 Schlüssel 17		創元推理文庫
マルク・ラーベ	酒寄 進一 訳	発売中
早朝のベルリン大聖堂に、深紅の血が降り注いでいた。丸天井の下、頭上10メートルほどの位置に、女性牧師が吊り下げられていたのだ。通報を受けて殺人現場に駆けつけたトム・バビロン刑事は、信じがたい光景を目撃する。被害者の首には、カバーに「17」と刻まれた鍵がかけられていた。それはかつて、トムが少年の頃に川で見つけた死体のそばにあった物と同じだった。鍵は10歳で失踪した妹が持ちだしていたのだが、なぜそれが今、現れたのか。謎を追ううちに、トムは恐るべき真相をえぐりだす。圧倒的スピードで疾走するドイツ・ミステリ！		
著者紹介：ドイツ、ケルン生まれ。10代で仲間と映像を撮りはじめ、大学入学前に映像制作会社を設立。大学では演劇・映画・テレビ学とドイツ文学を専攻するものの、会社経営に専念するために中退した。2012年にSchnittを刊行して作家デビュー。同作は〈シュピーゲル〉のベストセラーリストに数週間にわたって掲載された。2018年に刊行した「刑事トム・バビロン・シリーズ」第1作『17の鍵』が大ベストセラーとなる。全4作の同シリーズは、本国で累計発行部数が43万部を超える人気を得た。ケルン在住。		

86

『 19 号室 』 Zimmer 19		創元推理文庫
マルク・ラーベ	酒寄 進一 訳	2 月
ベルリン国際映画祭の開会式場に悲鳴が響き渡った。予定外の、女性が殺される瞬間を撮った映像が上映されたのだ。女性は市長の娘で女優の卵。しかし映像はあまりにリアルで、目出し帽の人物が上映を強要したという。トム・バビロン刑事は捜査を始めるが、相棒の臨床心理士ジータは、映像内の壁に残されていた「19」に、自分との共通点を見つけて戦慄する。――そして新たな惨劇が！『17の鍵』につづくシリーズ第2弾。		

87

『 本好きに捧げる英国ミステリ傑作選 』 ※ 仮題 Murder by the Book		創元推理文庫
クリスチアナ・ブランド 他 マーティン・エドワーズ 編	中村 有希 他 訳	夏
現代英国を代表するミステリ作家にして愛好家マーティン・エドワーズが、英国探偵小説の一時代を築いた巨匠たちの名品から精選した〈本にまつわる〉ミステリ傑作選。毒を盛られた愛書家が、死の直前に蔵書に書き残したアンダーラインの真相。ロンドン警視庁迷宮課レイソン警部が一冊の詩集から繰り広げた推理のゆくえ。作家クリスチアナ・ブランド宛ての原稿依頼書を誤って受け取った女性による奇妙な犯罪の顛末……。謎解き小説や犯罪小説、〈奇妙な味〉のショートショートまで様々なバリエーションで本好きに捧げる16のミステリ。		
編者紹介：作家・評論家。1955年イギリス生まれ。評論『探偵小説の黄金時代』でエドガー賞、アガサ賞などを受賞。英国推理作家協会（CWA）の会長をつとめ、2020年には英国推理作家協会ダイヤモンド・ダガー（巨匠）賞を受賞した。さらに22年刊行の評論The Life of Crime: Detecting the History of Mysteries and Their Creatorsでもエドガー賞、アンソニー賞などを受賞している。ミステリ作家としては23年『処刑台広場の女』が邦訳刊行され話題となり、アンソロジーの編纂・監修者としても精力的に活動する。		

SF Lineup for 2025 : Science Fiction		
88		
『 非在の街 』 The Cartographers		四六判仮フランス装 （創元海外 SF 叢書）
ペン・シェバード	安原 和見 訳	4 月
元地図学者見習いのネルは、NY公共図書館の高名な地図学者である父の死を知らされる。彼はなぜか、なんの変哲もない古い道路地図を大切に隠していた。だが、価値がないはずのその地図の複製は、あらゆる所蔵機関で紛失・盗難されていた。父の死の翌日に図書館を襲い、煙のように消えた殺人犯の狙いもこの地図らしい。ネルは地図の秘密を探っていく。その地図は、隠された奇妙な世界への招待状だった。新鋭が放つ傑作幻想小説。ミソビーイク賞候補作。		
著者紹介：アリゾナ州出身。ニューヨーク大学の修士課程を卒業後、2020年の全米芸術基金の助成金を受けた。2019年、デビュー長編The Book of Mでニューコム文学賞第一長編部門を受賞。テレビドラマ化も予定されている。『非在の街』は第二長編となる。		

89

『 絶滅の牙 』 ※ 仮題 The Tusks of Extinction		創元 SF 文庫
レイ・ネイラー	金子 浩 訳	秋
近未来。野生の象は絶滅し、シベリアには遺伝子工学により復活したマンモスの保護区が成立していた。かつて象を保護する生物学者であったダミラは、その意識だけを一頭のマンモスに転送し、群れを率いる存在となる。一方、保護区にはマンモスを狙う密猟者の息子スヴァトスラフや、大金を積んでマンモス狩りの合法的権利を得た富豪の夫アンソニーらが集まっていた。彼らはマンモスを巡る戦いの中で、それぞれの葛藤と向き合う……		
著者紹介：ケベック生まれカリフォルニア州出身の作家。ロシアを始めトルクメニスタン、ベトナムなど世界各地で暮らした経験がある。2015年に作家デビュー。2022年の第一長編The Mountain into the Seaでネビュラ賞長編部門、キッチーズ賞第一長編部門、ローカス賞第一長編部門のファイナリストとなる。		

90

『 パラドクス・ホテル 』 The Paradox Hotel		創元 SF 文庫
ロブ・ハート	茂木 健 訳	3 月
過去へのタイムトラベルが実現した世界。時間犯罪取締局の元調査官ジャニユアリーは、タイムトラベラー特有の病気である時間離脱症（アンスタック）を患って退職し、今は時空港（タイムポート）に併設されたパラドクス・ホテルの警備主任をしている。アンスタックの症状で未来や過去を幻視してしまう彼女は、ホテル内でまだ殺されていない男の他殺体を目撃し、さらに自らが銃殺されるシーンも幻視して、調査を開始する。おりしも時空港買収の入札のためホテルに集まった4人の大富豪を狙った事件が次々に発生する中、ホテル内で時間の流れがおかしくなるなどの異常事態まで発生し……		
著者紹介：1982年生まれ、アメリカ・ニューヨーク州出身の作家・ジャーナリスト。ミステリアス・プレス編集者やNPR（米国公共ラジオ放送）などを経て、クライムノベルAsh MacKennaシリーズなどを発表。2022年の長編『パラドクス・ホテル』はカーカスレビュー誌の2022年ベストSFFリストに選出された。		

91

『シナバー』 Cinnabar		創元 SF 文庫
エドワード・ブライアント	市田 泉 訳	春
砂漠の果て、大海に臨む崖の上に位置する遠未来の都市シナバー。超技術が保証する快楽と倦怠に身を委ねる市民たちの都は、機械知性体によって管理されている。倫理を超越した発明品でシナバーを賑わす科学者オブレゴン、母性と知性を強化された巨大猫ジェイド・ブルー、奔放な美女トルマリン・ヘイズら奇矯なシナバーの住人が、永遠の倦怠の中で出会った人びとと出来事を描く。J・G・バラード〈ヴァーミリオン・サンズ〉に触発されて書かれた幻の傑作SF連作集、本邦初訳。		
著者紹介：1945年ニューヨーク生まれ。68年にワイオミング大学で修士号を取得し、クラリオン・ワークショップに参加。79年に"Stone"が、その翌年に"giANTS"がネビュラ賞ショートストーリー部門を受賞。詩的かつ印象的な短編の名手として知られ、ほかに詩、ノンフィクション、批評、評論も執筆する。2017年没。		

92

『未来世界から来た男 フレドリック・ブラウン SF 短編全集』【文庫版】 From These Ashes		創元 SF 文庫
フレドリック・ブラウン	安原 和見 訳	年内
奇抜な着想、軽妙なプロットで、短編を書かせては随一の名手。1963年には『未来世界から来た男』で創元SF文庫（当時は創元推理文庫SFマーク）の記念すべき第1弾を飾ったフレドリック・ブラウン。その多岐にわたる活躍の中から、111編のSF短編すべてを収めた新訳決定版全集、待望の文庫化（全5巻）スタート！		
著者紹介：1906年アメリカ生まれ。新聞社、雑誌社などに勤務のかたわら、執筆を開始。1947年刊行の『シカゴ・ブルース』で、アメリカ探偵作家クラブ（MWA）賞最優秀新人賞を受賞。多くのミステリ、SF、ファンタジーを発表した。代表作は『真っ白な嘘』『不吉なことは何も』『通り魔』『不思議な国の殺人』『3、1、2とノックせよ』『未来世界から来た男』『天使と宇宙船』『スポンサーから一言』など。奇抜な着想と軽妙な話術で描くショートショートの名手。1972年没。		

93

『ウは宇宙船のウ』【新訳版】 R is for Rocket		創元 SF 文庫
レイ・ブラッドベリ	中村 融 訳	夏
幻想と叙情のSF詩人ブラッドベリが、ヤングアダルト読者のためにという出版社のもとめに応じて自選した珠玉の短編集。収録作はいずれも、60年以上の時を経ていまもまったく輝きを失わない傑作ばかりだ。旧訳版では他の短編集と重複したため割愛されていた1作品を、今回の新訳版では復活させ、原書どおりの17編とする。		
著者紹介：1920年、アメリカのイリノイ州に生まれ、34年にカリフォルニア州へ移住。少年時代からSFを耽読し、41年にヘンリー・ハースとの共作「振子（ふりこ）」で商業誌デビュー。その後、独特の流麗な文体により“SFの叙情詩人”と呼ばれるまでになる。代表作に『何かが道をやってくる』『火星年代記』『華氏451度』『10月はたそがれの国』など。また56年にはジョン・ヒューストン監督映画『白鯨』の脚本を担当した。2004年、アメリカの芸術家にとって最大の荣誉であるナショナル・メダル・オブ・アーツを受賞。12年没。		

94

『超機動音響兵器ヴァンガード』 August Kitko and the Mechas from Space		創元 SF 文庫
アレックス・ホワイト	金子 浩 訳	5月
西暦2657年、地球人類は滅亡の危機に瀕していた。深宇宙から突如あらわれた巨大ロボット・ヴァンガードたちにより、各種惑星やコロニーは殺戮され、太陽系統合防衛軍最後の希望だった秘密兵器もあっけなく破壊されたのだ。ついに地球に降り立ったヴァンガードを前にして、ジャズピアニストのガスはロックスターのアーデントとともに、人生最後のジャムセッションを敢行する。するとその音楽が新たにあらわれた別のヴァンガードと響きあい、ガスはヴァンガードの搭乗者として強制的に取りこまれる。こうして、人類を救うための戦いがはじまった――		
著者紹介：ミシシッピ生まれアトランタ在住のSF作家。スペースオペラ三部作Salvagersをはじめ、「エイリアン」や「スタートレック」の関連小説などを発表。趣味は作曲、カリグラフィー、鍛冶、写真。代名詞はthey/their。		

95

『アナログ／ヴァーチャル』※仮題 The Ten Percent Thief		創元 SF 文庫
ラヴァンヤ・ラクシュミナラン	新井なゆり 訳	6月
資源枯渇と気候変動で荒廃した世界のなかで、国家は消滅し、あらゆる都市が自活を余儀なくされた。やがてそのなかから生まれたゝベル機構。の主導により、かつてのベンガルールの街は徹底的に能力主義的な技術統治体制がしかれ、ゝ頂点都市。となって繁栄を極める。この街では生産性に基づき、上位2割と中間7割のヴァーチャル民、下位1割のアナログ民に分断された厳格な階級社会が成立している。そんな世界においても、レジスタンスの胎動が生まれていた……インド発、ローカス賞・クラーク賞ファイナリストの近未来SF！		
著者紹介：インド出身、バンガロール在住の作家・ゲームデザイナー（女性）。2020年のデビュー短編集である本作でローカス賞短編集部門ファイナリストとなり、SF作家として初めてインドの著名文学賞であるタイムズ・オブ・インディア・オーサー賞とヴァレー・オブ・ワーズ・ブック賞を受賞。2023年に刊行されたUS/UK版はアーサー・C・クラーク賞候補作となる。		

96

『裏返しの世界』※仮題 Eversion		創元 SF 文庫
アレステア・レナルズ	中原 尚哉 訳	7月
19世紀、医師サイラス・コードが乗船する帆船デメテル号は、ノルウェー沿岸へ極地探検に向かっていた。目的地のフィヨルドには、古代に建設されたとおぼしき謎の大建築物が存在するという。ついに現地に到達したサイラスたちは、ライバル船エウロバ号の末路を目撃する。そのとき、思いがけない事態が起こる……しかし、サイラスが不吉な夢から目覚めると、座乗する蒸気船デメテル号は南米パタゴニアへ向かう探検行の途上にあった……いったいなにが起こっているのか？ いっぽう、宇宙空間では……ローカス賞、ドラゴン賞候補作。		
著者紹介：1966年イギリス・南ウェールズ生まれ。セントアンドルーズ大学で天体物理学の博士号を取得。欧州宇宙機関の一部門である欧州宇宙技術センターに勤務したのち、2004年専業作家となる。長編『カズムシティ』で2001年英国SF協会賞を受賞。短編「ウェザー」「ジーマ・ブルー」で2008年と2021年の星雲賞を受賞。		

97

『 遊戯と臨界 赤野工作ゲーム SF 傑作選 』	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
赤野 工作 (あかの・こうさく)	3 月
月面に待っ敵プレイヤーとの、ラグ1.3秒での格闘ゲーム対決。ユーザーの記憶を操作し、「遊ぶと呪われる」と噂されてきたゲームへの挑戦。放射能を用いてイカサマ賭博を行ったというヤクザが、自らを追う刑事に宛てしたための懺悔——「あまりにもゲームを愛しすぎた人々」を題材に、『ザ・ビデオ・ゲーム・ウィズ・ノーネーム』で注目を集めた異才が描きだす、至高のゲームSF11編。	
著者紹介：作家・ゲームライター・ゲームコレクター。2017年、小説サイト「カクヨム」への投稿作を改稿した、架空の低評価ゲームについてのレビュー集『ザ・ビデオ・ゲーム・ウィズ・ノーネーム』でデビュー。共著に『ゲーマーが本気で薦めるインディーゲーム200選』、訳書に『台湾老卓遊 台湾レトロテーブルゲーム図鑑』（陳介宇、陳芝婷著)がある。	

98

『 ノーマンズ・ソサエティー 』 ※ 仮題	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
秋田 禎信 (あきた・よしのぶ)	年内
記憶をリセットする技術が発達し、不都合があればすぐに以前の人格と記憶を捨て、新たな人間に生まれ変わることが常識となった、近未来の社会。なぜか何回リセットしても、お互いに関する記憶を夢で思い出してしまう少年《スコップ》と彼が恋する少女《小声》は、廃棄処置される直前、街の外から来た男・レールローダーの手引きで脱出する。しかし、ふたりに追っ手がかかる。なぜ、廃棄される子供にすぎないのに命を狙われるのか？彼らが見る夢の意味とは？ 〈魔術士オーフェン〉の著者が描くSF長編。	
著者紹介：1973年東京都生まれ。91年、17歳で応募した『鬼の話』で第3回ファンタジア長編小説大賞に準入選。翌年に同作を改訂・改題した『ひとつ火の粉の雪の中』でデビュー。代表作〈魔術士オーフェン〉シリーズは、累計1400万部（電子含む）を超える大ヒットとなる。また、一般文芸、アニメノベライズ、ゲームの脚本などにも活動の場を広げている。他の著書に『カナスピカ』『機械の仮病』『ハンターダーク』『ハルコナ』『Your story with あなたとクルマの物語』がある。	

99

『 竜と沈黙する銀河 』 ※ 仮題	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
阿部 登龍 (あべ・とりゅう)	年内
生体印刷技術が普及した2035年。〈竜の女王〉の影を追い、査察官ザーフィラは故国へ向かう——「竜が実在する近未来の地球」と女性パディの活躍を力強い筆致で描きだし、第14回創元SF短編賞に輝いた同題作品に、主人公らの新たな戦いを描く第二部を加えた長編版。冒険SFの新時代を切りひらく野心作がここに。	
著者紹介：作家・獣医師。1992年北海道生まれ。2023年、「竜と沈黙する銀河」で第14回創元SF短編賞を受賞。その他の作品に、『紙魚の手帖 vol.18 AUGUST 2024』で発表された短編「狼を装う」がある。	

100

『 記憶人シーの最後の記憶 』	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
柞刈 湯葉 (いすかり・ゆば)	年内
現生人類が減びさったのち、〈別種〉と呼ばれる遺伝子改変者のみが暮らす未来の地球。人の営みの全てを後世へ手渡すべく、完全な記憶を与えられた少年シーは、喋る黒猫エルとともに旅を続けていた——『横浜駅ＳＦ』、『まず牛を球とします。』の柞刈湯葉の最新長編にして、『旅のラゴス』『ヨコハマ買い出し紀行』の系譜に連なる、ポストアポカリプス×ロードノベルの新たな傑作！	
著者紹介：福島県生まれ。2016年、第1回カクヨムWeb小説コンテストSF部門大賞を受賞した『横浜駅SF』でデビュー。著書に『人間たちの話』『まず牛を球とします。』などがある。	

101

『 飲鳩止渴（いんちんしかつ） 』 ※ 仮題	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
斧田 小夜 (おのだ・さよ)	秋
鳩とは猛毒を持つ伝説の巨鳥。鳩が飛ぶと国が減ぶという。民主化運動が頂点に達した揺碧国に鳩は忽然と現れ、運動の鎮圧に出勤した軍人たちともども広場の人民を殺戮した。そして10年、体制は入れかわり、国は急激な発展を遂げたが……。第10回創元SF短編賞優秀賞受賞作をはじめ、不思議な生き物を主題にした作品集。	
著者紹介：1983年生まれ、千葉県出身。2019年、「飲鳩止渴」で第10回創元SF短編賞優秀賞を受賞。ハードウェアエンジニア、セキュリティエンジニアを経て、現在はソフトウェアエンジニア。著書に『ギークに統はいらない』がある。	

102

『 風になるにはまだ 』	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
笹原 千波 (ささはら・ちなみ)	夏
病気や障害で現実世界で生身の肉体として生きることが困難になった人々が、〈情報人格〉となって仮想世界で暮らすことができるようになった近未来。13年前に情報人格となった樫山小春は、大学時代の友人たちはパーティーに出席するため、身体を貸し出してくれるサービスを利用することにした。俊英のみずみずしいデビュー作品集。第13回創元SF短編賞受賞作を収録。	
著者紹介：1994年東京都生まれ。女子美術大学卒。2020年、「翼は空を忘れない」（日吉真波名義）で第204回Cobalt短編小説新人賞を受賞。22年、「風になるにはまだ」で第13回創元SF短編賞を受賞した。本作が書籍デビュー作となる。	

103

『 星の航海者 2 遙かな惑星 』 ※ 仮題	創元 SF 文庫
笹本 祐一 (ささもと・ゆういち)	夏
恒星間記録員のメイアは、約200年ぶりに訪れたくじら座τ星の惑星ディープブルーで、開拓第6世代の惑星記録員ミランダと出会う。ミランダは宇宙勤務を忌避していたが……。著者の真骨頂たる宇宙SFシリーズ第2弾！	
著者紹介：1963年東京生まれ。宇宙作家クラブ会員。84年『妖精作戦』でデビュー。99年の『彗星狩り 星のパイロット2』と、2005年の『ARIEL』で星雲賞日本長編部門を、03年、04年、07年の『宇宙へのパスポート』3作すべてで星雲賞ノンフィクション部門を受賞。	

104

『 惑星カザンの桜 』	創元 SF 文庫
林 譲治 (はやし・じょうじ)	2 月
地球から一万光年離れた惑星カザンで、文明の急激な成長と滅亡が観測される。すでにワープ航法を手に入っていた人類が、急遽この星へ送り込んだ調査チーム750名は、到着後完全に消息を絶った。カザン文明はいかにして滅び、先遣隊はなぜ遭難したのか？第二次調査隊は厳戒態勢のもと、ついに惑星の地表へ降り立つが——現代宇宙SFの旗手が描く、緊迫のファースト・コンタクトSF。	
著者紹介：1962年、北海道生まれ。95年『大日本帝国欧州電撃作戦』（共著）でデビュー。架空戦記とSF作品の双方で人気を博し、2021年には《星系出雲の兵站》シリーズで第41回日本SF大賞および第52回星雲賞日本長編部門を受賞した。	

105

『 わたしたちの怪獣 』【文庫版】	創元 SF 文庫
久永 実木彦 (ひさなが・みきひこ)	2 月
妹が父を殺した日、東京湾に怪獣が出現した。姉は妹を守るために、怪獣が暴れる東京へ父の死体を棄てにいく——第55回星雲賞日本短編部門を受賞した表題作を含む全四編。	
著者紹介：東京都出身。2017年、「七十四秒の旋律と孤独」で第8回創元SF短編賞を受賞。書籍デビュー作である『七十四秒の旋律と孤独』が日本SF大賞候補に選ばれる。2022年に発表した短編「わたしたちの怪獣」で再び日本SF大賞の候補となったのち、同作を表題作とした短編集を2023年に刊行した。愛妻家で愛猫家。	

106

『 イヴの末裔たちの明日 』 【文庫版】	創元 SF 文庫
松崎 有理（まつざき・ゆうり）	3 月
刑務所からタイムマシンで脱獄せよ！ 英雄になるため妖怪討伐に行く若者の運命は。『シュレーディングーの少女』の松崎有理が贈る、運命の分かれ道での決断を描く短編集。	
著者紹介：1972年茨城県生まれ。東北大学理学部卒。2010年に「あがり」で第1回創元SF短編賞を受賞。著作に同作を収録したSF連作集『あがり』のほか、『架空論文投稿計画』『5まで数える』『イヴの末裔たちの明日』などがある。	

107

『 神の豚 』 ※仮題	四六判仮フランス装 （創元日本 SF 叢書）
溝渕 久美子（みぞぶち・くみこ）	秋
感染症の蔓延で食用動物がいなくなった近未来の台湾。ある日、実家で一人暮らしする長兄が子豚に変わってしまったと、次兄から末の20代の妹に連絡があった。彼女は台北での勤めをやめて実家に戻り、このかわいい豚を隠して暮らすことに――。失われゆく食文化の再建を清々しい筆致で描く、第12回創元SF短編賞優秀賞受賞作をはじめとする、待望の第一作品集。	
著者紹介：京都市在住。2021年、「神の豚」で第12回創元SF短編賞優秀賞を受賞。名古屋大学大学院を経て、現在は大学非常勤講師。専門は映画学・映画史。共訳書に『影の美学―日本映画と照明』（宮尾大輔著、名古屋大学出版会、2019年）。	

108

『 ときときチャンネル 2 』	四六判仮フランス装 （創元日本 SF 叢書）
宮澤 伊織（みやざわ・いおり）	秋
生活費の足しにするため、同居人であるマッドサイエンティストの多田羅末貴の発明を紹介するチャンネルを立ち上げた十時さくら。宇宙を飲んで、時間を飼って、家から出られなくなりつつ、どうにかチャンネル登録500人を突破！！ さて次の配信内容は……？ 全宇宙が待っていた続編登場です！	
著者紹介：秋田県出身。2011年『僕の魔剣が、うるさい件について』でデビュー。15年「神々の歩法」で第6回創元SF短編賞を受賞し、受賞作を表題作とした連作長編を22年に刊行。17年より刊行されている〈裏世界ピクニック〉シリーズはコミック化、アニメ化もされ人気を博す。23年、『ときときチャンネル 宇宙飲んでみた』を刊行。同書は『SFが読みたい！ 2024年版』の「ベストSF2023 国内篇」で第3位となる。他の著作に『ウは宇宙ヤバイのウ！』『そいねドリーマー』などがある。	

109

『 天駆せよ法勝寺 』	四六判仮フランス装 （創元日本 SF 叢書）
八島 游舷（やしま・ゆうげん）	年内
九重塔型の宇宙船が、佛理学の力によって恒星間を駆ける――大胆な世界設定で話題を呼んだ、第9回創元SF短編賞受賞作「天駆せよ法勝寺」。作中に登場する宇宙僧たちの若かりし日の活躍を中心に据え、法勝寺発進に至るまでのドラマを描ききった長編版がついに刊行。さらに奥行きとアイデア密度を増した、「佛パンク」の世界がその全貌を現す。	
著者紹介：2018年、第5回日経「星新一賞」を「Final Anchors」で受賞（電子書籍アンソロジー『日経「星新一賞」第五回受賞作品集』に、また加筆修正版が伴名練編『新しい世界を生きるための14のSF』（ハヤカワ文庫JA）に収録）、直後に第9回創元SF短編賞を「天駆せよ法勝寺」で受賞。他の作品に「時は矢のように」（創元SF文庫『時を歩く』）、「アート・テロリスト」（小説すばる2020年10月号）など。	

110

『 時の果てのフェブラリー 』	創元 SF 文庫
山本 弘（やまもと・ひろし）	発売中
地球の六箇所に突如、謎の重力異常地帯が発生し、人類は危機に陥る。人々の運命は超能力者の少女フェブラリーに託された。未完の続編「宇宙の中心のウェンズデイ」を併録。山本弘にこの一冊ありと語られるハードSFがついに復刊！	
著者紹介：1956年京都府生まれ。78年「スタンピード！」で第1回奇想天外SF新人賞佳作に入選。87年、ゲーム創作集団「グループSNE」に参加。作家、ゲームデザイナーとしてデビュー。2003年発表の『神は沈黙せず』が第25回の、また07年発表の『MM9』が第29回の日本SF大賞候補作となり、06年の『アイの物語』は第28回吉川英治文学新人賞ほか複数の賞の候補に挙がるなど、日本SFの気鋭として注目を集める（『MM9』は連続TVドラマ化された）。11年に『去年はいい年になるだろう』で第42回星雲賞を、16年に「多々良島ふたたび」で第47回同賞を受賞。他の著作に、『シュレディングーのチョコパフェ』『闇が落ちる前に、もう一度』『地球移動作戦』『BISビプリオバトル部シリーズ』など。24年没。	

111

『 紙魚の手帖 vol.24 Genesis 』	A5 判並製
	8 月
2018年から2022年まで単行本で刊行された書下ろしアンソロジーシリーズ《Genesis》が東京創元社の総合文芸誌『紙魚の手帖』に合流！ 8月発売号をまるごとSFで彩る。創元SF短編賞受賞作、注目作家による書き下ろし短編、最新翻訳短編のほか、SF文学賞紹介記事、SFブックレビュー拡大版も。	

文芸 Lineup for 2025 : Literature

112	『 薔薇の名前 』【完全版】 Il Nome della Rosa	四六判単行本
	ウンベルト・エーコ	河島 英昭・河島 思朗 訳
		秋
	『薔薇の名前』の初版以降に著者自身が入れた訂正版に、覚書としてあとから刊行された小冊子を巻末に収録、さらに、執筆時に著者が描いていた登場人物や文書館のイメージスケッチなどを収録した完全版。	
	著者紹介：1932年、北イタリア、アレッサンドリア生まれ。記号学者、文芸評論家、哲学者、文学者、作家。トリノ大学で中世美学、トマス・アクィナスを研究。卒業後、イタリア放送協会（RAI）の文化番組や出版社ボンピアーニの評論部門に関わる。ミラノ大学、フィレンツェ大学を経て、ボローニャ大学の記号論の教授に就任。同大学名誉教授。著書に『薔薇の名前』、『フーコーの振り子』、『プラハの墓地』、『記号論』、『開かれた作品』、他多数。2016年2月没。	

113	『 ミスター・ミー 』【文庫版】 Mr Mee	創元ライブラリ
	アンドルー・クルミー	青木 純子 訳
		2月
	書物に埋もれて暮らす八十代の独居老人、ミスター・ミー。ひょんなことから知った失われた謎の書物ロジエの『百科全書』の探究のため、彼はパソコンを導入しネットの海に乗り出し、読書する裸の女性のライブ映像に行き着く。彼女の読んでいる本のタイトルは『フェランとミナール——ジャン=ジャック・ルソーと失われた時の探究』。ルソーの『告白』に登場する18世紀の二人の浄書屋フェランとミナール、この二人と謎めいた原稿の物語、ルソー専門の文学教授の教え子への恋情を綴った手記、ミスター・ミーのインターネット奮闘記、この三つの物語がロジエの『百科全書』を軸に縊り合わされ、結ばれ、不可思議な円環がそこに生まれる。文学界のエッシャーによる傑作。待望の文庫化。	
	著者紹介：スコットランド、グラスゴー生まれ。セント・アンドリューズ大学で理論物理学と数学を学び首席で卒業。ロンドンのインペリアル・カレッジで理論物理学博士号を取得。大学研究員、高校教師を経て、1994年、"Music, in a Foreign Language" で作家としてデビュー。スコットランド文化振興財団ソルタイアの最優秀処女作品賞を受賞。本書は、第四作目でアーツ・カウンシル・ライターズ・アワード受賞。2003年には、L・ノーフォークやT・フィッシャーなどと同様に文藝誌「グランタ」の選ぶ若手イギリス作家ベスト十二人の一人に推挙されたが、年齢基準を超えていた彼は律儀にこれを辞退した。ボルヘスやカルヴィーノに連なる作風として捉えられることが多く、本国では「文学界のエッシャー」とも言われている。	

114	『 失われた手稿譜 』【文庫版】 L'Affare Vivaldi	創元ライブラリ
	フェデリーコ・マリア・サルデッリ	関口 英子・栗原 俊秀 訳
		秋
	18世紀に消えたヴィヴァルディの自筆楽譜がたどった数奇な運命を、音楽家で音楽史研究家で、しかも画家でもある多彩な著者が、綿密な研究調査により明らかにした、謎解きと冒険譚の魅力を併せ持つ傑作小説。音楽ファンのみならず、歴史小説ファンも大いに楽しめる一冊。	
	著者紹介：1963年イタリアのトスカーナ州リヴォルノ生まれ。父親は画家。11歳で作曲を始め、12歳で風刺雑誌に漫画を寄稿するようになり、現在も同誌の看板作家として活躍中。哲学を学んだのち、バロック音楽のオーケストラ、モード・アンテイクオを創設、指揮者となる。フィレンツェの音楽アカデミーでリコーダーやフルートの指導にあたり、音楽学者、研究者としての業績に対する評価も高い。作曲家、指揮者、学者、画家、版画家、漫画家…等、その活躍の幅広さは、まさに鬼才の名にふさわしい。	

115	『 不運な奴ら 』 The Unfortunates	単行本 （箱入り特装本）
	B・S・ジョンソン	若島 正 訳
		夏
	「ストーリーは小説の第一条件ではない。人生はストーリーを語らない。……人生は混沌として、流動的なもので、乱雑なままに終わる」というのがジョンソンの主張である。主人公のサッカー記者が、かつて親友夫妻と住んでいた、ある町に仕事で派遣された。そこで彼は病で29歳にして死んだ友人の記憶を再編成しようと試み、そして再びもといたところに帰っていくという物語。彼の現在と過去は対等に現前する。その同時性を表わすために、ジョンソンは全体を27の部分にわけて、「最初」と「最後」という二部以外はアトランダムに箱に入れて過去と現在の混じり合う混淆と欠落を表現した。実験的手法が人生を鮮やかに描き出す。	

116	『 The Pavee and the Buffer Girl ※ 原題	四六判上製
	シヴォーン・ダウド／エマ・ショード絵	宮坂 宏美 訳
		年内
	主人公の少年ジムは、両親や親族といっしょにトレーラーハウスで集団移動しながら暮らす〈パヴィー〉のひとり。アイルランドの小さな町で、地元に住住する〈バッファー〉たちの学校に通いはじめるが、好奇の目にさらされたり、不良グループから暴力を受けたりする。そんな中、ぶかぶかの制服を着て周囲から浮いているバッファーの少女、キットと親しくなる。しかし、おだやかな時もつかのま、ジムの病弱の従弟が不良グループにおそわれる事件が起きて――。カーネギー賞受賞作家シヴォーン・ダウドが、アウトサイダーの少年と少女の出会いと揺れ動く気持ちを繊細に描いた一編に、気鋭の版画家としても活躍するエマ・ショードが挿絵をつけた忘れがたい物語。	
	著者紹介：1960年、ロンドン生まれ。オックスフォード大学卒業後、国際ペンクラブに所属し、作家たちの人権擁護活動に長く携わった。2006年、『すばやい澄んだ叫び』で作家デビューし、ブランフォード・ボウズ賞とアイリーシュ・ディロン賞を受賞、カーネギー賞の最終候補にもなった。2007年に『ロンドン・アイの謎』を発表したが、わずか2か月後の8月、乳がんのため47歳で逝去。同作はピスト最優秀児童図書賞（現・KPMGアイルランド児童図書賞）を受賞した。死後に『ボグ・チャイルド』が発表され、2009年のカーネギー賞を受賞している。遺された構想をもとにパトリック・ネスが執筆した『怪物はささやく』もカーネギー賞を受賞した。	

117	『 Miss Morgan's Book Brigade ※ 原題	四六判並製
	ジャネット・スケスリン・チャールズ	高山 祥子 訳
		年内
	1918年の北フランス。ニューヨーク公共図書館の司書ジェシーは、〈荒廃したフランスのためのアメリカ委員会〉の招聘を受け、北フランスのブレランクールという村を訪れた。前線からわずか数キロ。戦争の爪痕が色濃く残る荒廃した村で、ジェシーは子供たちのために図書館再建に力を尽くそうと奮闘するが……。1987年のニューヨーク。ニューヨーク公共図書館に勤める28歳のウェンディは、図書館で働く傍ら、作家を夢見て大学の創作クラスに通っている。ある時、仕事中に扱った新聞記事でジェシーという司書が第一次大戦中にフランスへ派遣された記事が気になり、調べていくことに……。危険に直面し、それでも本の力を信じて闘った知られざる女性たち。『あの図書館の彼女たち』の著者が綿密なりサーチによって歴史を生き生きと甦らせた感動作！	
	著者紹介：アメリカのモンタナ州出身で、現在はパリに住む。デビュー長篇Moonlight in Odessaはメリッサ・ネイサン賞のロマンティック・コメディ小説部門賞を受賞し、〈パブリッシャー・ウィークリー〉誌で2009年秋のデビュー作品トップ10のひとつに選ばれ、10か国語に翻訳されている。パリのアメリカ図書館でプログラム・マネジャーとして働いた経験を活かして『あの図書館の彼女たち』を執筆した。この作品は2021年2月のAmazonベストブックの一冊に選ばれ、〈ニューヨーク・タイムズ〉紙のベストセラーリストに載るなど人気を博した。その他の著作に、2024年刊行のMiss Morgan's Book Brigadeなどがある。	

118

Dandelion Clock ※ 原題		四六判上製
ガイ・バート	山田 蘭 訳	年内
ロンドンでの大規模な展覧会を控える中、ほんの数日の猶予をもらって、ぼくは13歳の夏までの少年時代をすごしたイタリアの村へ帰ることにした。思い出の家を何かにとりつかれたように修理し、少年のころと同じ色に壁を塗りなおしながら、ぼくは展覧会のことも忘れ、これまで封じこめていた記憶が怒涛のように甦ってくるのに身をまかせていた。七歳のとき、近所に引っ越してきたジェイミーのこと。八歳の夏休みをともに過ごしたジェイミーの従妹アンナのこと。ここを離れてからの寄宿学校での生活、そして二十歳を過ぎてからの再会——。『ソフィー』のガイ・バートによる、透明なノスタルジーと哀しみに満ちた畢生の大作。		
著者紹介：1972年生。12歳でW・H・スミス文学賞のヤング・ライターズ・コンテスト部門に入賞。18歳で初めての小説となる『穴』（『体験のあと』）を執筆、ゴールディング『蠅の王』に比肩する作品と、評判となる。同作はソーラ・バーチ主演で映画化され、さらなる話題を呼んだ。オックスフォード大在学中に『ソフィー』を上梓。英国発のTVドラマ「ワイヤー・イン・ザ・ブラッド」の脚本「シークレット・ガーデン」がMWA最優秀TVエピソード賞にノミネートされるなど、シナリオライターとしても活躍する。		

119

Perspective (s) ※ 原題		四六判上製 (海外文学セレクション)
ローラン・ピネ	高橋 啓 訳	年内
16世紀のフィレンツェ、ミケランジェロやラファエロの手法、様式を称え、自然を凌駕する高度な芸術手法という意味を持つマニエリスムの老画家ポントルモ(実在)が、11年間描き続けているフレスコ画の前で殺害されて発見された。そこには、メディチ家の娘マリア・ダ・メディチを描いた猥褻な絵が残されていた。ポントルモを殺したのは誰か？ いかかわしい絵を描いたのは誰なのか？ 美術史家でヴァザーリ(実在)が調査を始める。書簡体（176通の書簡で構成）ミステリの傑作。		
著者紹介：1972年パリ生まれ。『HHhH——プラハ、1942年』でゴンクール賞最優秀新人賞受賞（邦訳版は、本屋大賞・翻訳小説部門第1位Twitter 文学賞・海外編第1位）『言語の七番目の機能』でアンテラリエ賞、Fnac小説大賞受賞、『文明交錯』でアカデミー・フランセーズ小説大賞受賞。現代フランス文学界を代表する作家。		

120

Nachmittage ※ 原題		四六判上製
フェルディナント・フォン・シーラッハ	酒寄 進一 訳	年内
ベルリン、パリ、オスロ、東京、ニューヨーク、チューリッヒ、ウィーン……。元弁護士で作家の「私」は、文化行事やブックフェアへ参加するために世界各国の都市を訪れ、そこで出会ったさまざまな人々の物語を綴っていく。台北で縁結びの神について教えてくれた女性ジャーナリスト。マラケシュで16年ぶりに再会したかつての依頼人。東京のレストランで相席になった、かつて有名なロックスターと蜜月状態にあった弁護士。16世紀に建設されたヴェネツィアの邸宅で傷を負い、衝撃的な過去を語った女性……。文学や映画への深い洞察が織り込まれ、純粹で奇妙で不条理な人間への愛にあふれた、全26話からなる短編小説集！		
著者紹介：1964年ドイツ、ミュンヘン生まれ。ナチ党全国青少年最高指導者バルドゥール・フォン・シーラッハの孫。1994年からベルリンで刑事事件弁護士として活躍する。デビュー作である『犯罪』（2009）が本国でクライスト賞、日本で2012年本屋大賞「翻訳小説部門」第1位を受賞した。その他の著書に『罪悪』（2010）、『コリーニ事件』（2011）、『カールの降誕祭（クリスマス）』（2012）、『禁忌』（2013）、『テロ』（2015）、『珈琲と煙草』（2019）などがある。		

121

Away with the Penguins ※ 原題		四六判単行本
ヘイゼル・プライア	坏 香織 訳	秋
ヴェロニカ・マクリーディは気むずかしいおばあちゃん。スコットランドにひとりで暮らし、お茶をしたり野生動物のドキュメンタリー番組を見たりしながら、そろそろいなくなる自分の遺産をどこへやろうかと考えている。ある日、南極のペンギン研究に興味を惹かれた彼女は、遺産をゆずる相手としてペンギンがふさわしいかを見極めるべく、はるか南の大陸へと一世一代の旅に出た——。頑固でひたむきなおばあちゃんと、愛おしくもひと筋縄ではいかないペンギンたちとの交流を描き、世界20カ国以上で刊行されベストセラーとなった、心温まる再出発の物語。		
著者紹介：イギリス、オクスフォード生まれの作家。ケルト音楽のハープ奏者としても活動する。2019年にEllie and the Harp Makerで作家デビュー。20年発表のAway with the Penguins（米題How the Penguins Saved Veronica）は20カ国以上で刊行され、〈リチャード&ジュディ・ブッククラブの1冊〉〈BBCラジオ2ブッククラブの1冊〉に選出されたほか、Amazon評価数は2万件を超え、kindle & オーディオブック部門でベストセラー1位を獲得した。		

122

『ナイフ投げ師』 The Knife Thrower and Other Stories		創元文芸文庫
スティーヴン・ミルハウザー	柴田 元幸 訳	7月
天才的な技量を誇るナイフ投げ師が、我らの町へやってきた。噂に違わずその腕前は見事なものだったが、彼の公演は徐々に趣向をエスカレートさせ、やがて……。O・ヘンリー賞受賞の表題作「ナイフ投げ師」ほか、自動人形、空飛ぶ絨毯、百貨店、伝説の遊園地など、魔法のごときモチーフを無二の語りで紡ぎだす、ミルハウザーの作品世界。柴田元幸の翻訳で贈る12の傑作短編。		
著者紹介：作家。1943年ニューヨーク生まれ。1972年『エドウィン・マルハウス』でデビュー。1997年に『マーティン・ドレスラーの夢』でピュリツァー賞を、1998年に短編「ナイフ投げ師」でO・ヘンリー賞を、2012年に『私たち異者は』でThe Story Prizeを受賞。		

123

『 集める人 』 ※ 仮題	四六判単行本
砂村 かいり（すなむら・かいり）	年内
何も言わずいなくなった彼氏を探して、かつて彼の部屋で見た毎年同じ日に同じ駅で発行されている切符を頼りに弁天島駅に降り立つ。そこで彼のことをよく知っている風な女性と出会って……（「きみは湖」）。そのほか、一見無駄に見えるものを大事そうに集める人と、彼・彼女らの内面を知ろうとする人たちが不器用ながらも寄り添い合う様子を描いた、全5編からなる愛おしい短編集。	
著者紹介：2020年に第5回カクヨムWeb小説コンテスト恋愛部門〈特別賞〉を『炭酸水と犬』『アパートたまゆら』で二作同時受賞し、翌年デビュー。他の著作に『黒蝶貝のピアス』『苺飴には毒がある』『マリアージュ・ブラン』『コーヒーの囚人』がある。	

124

『 フルハウス 』	四六判単行本
堂場 瞬一（どうば・しゅんいち）	10月
今年、著作200冊となる著者による、これ以上ない迫力と臨場感溢れるラグビー小説。手に汗握るラグビーの試合を、読書で体感してください。元ラガーマンの著者ならではの筆致に、ラグビーファン倍增を確約します。乞うご期待！	
著者紹介：1963年茨城県生まれ。青山学院大学国際政治経済学部卒業。新聞社勤務の傍ら、2000年に『8年』で第13回小説すばる新人賞を受賞してデビュー。13年から創作活動に専念。警察小説、スポーツ小説などを中心に多数の作品を発表、幅広い読者を獲得している。また海外ミステリ・ファンとしてもその名を轟かせている。著書に「警視庁追跡捜査係」「警視庁犯罪被害者支援課」「ラストライン」などのシリーズ、『穢（けが）れた手』、『決断の刻（とき）』、『ザ・ウォール』、『ピーク』『デモクラシー』他多数。	

125

タイトル未定	四六判単行本
町田 そのこ（まちだ・そのこ）	7月
蛍が舞う夜——地方の小さな町に暮らす中学生の民子と隆之は、誰にも言えぬ罪を抱えた。十五年後、同じ場所での再会をきっかけに二人とその周囲の人生が大きく動き出す。同僚として、友人として、家族として……「罪」に翻弄されながらも、つながりを求め続けた人々に温かなまなざしを注ぐ感動の連作長編。	
著者紹介：1980年福岡県生まれ。2016年「カメルーンの青い魚」で第15回「女による女のためのR-18文学賞」大賞を受賞。翌年、同作を収録した作品集『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』でデビュー。21年『52ヘルツのクジラたち』で本屋大賞を受賞。主な著書に『うつくしが丘の不幸の家』『わたしの知る花』『ドヴォルザークに染まるころ』、〈コンビニ兄弟〉シリーズなどがある。	

126

『 駅と旅 』	創元文芸文庫
砂村 かいり（すなむら・かいり）、朝倉 宏景（あさくら・ひろかげ）、君嶋 彼方（きみじま・かなた）、松崎 有理（まつざき・ゆうり）、額賀 滯（ぬかが・みお）、鳥山 まこと（とりやま・まこと）	3月
旅の始まりと終わりを見届けてくれて、行く場所であり帰る場所ともなる“駅”という場所は、いつも変わらずそこで私たちを待っています。浜松、西宮、札幌、唐津、明洞、ポルト——六つの都市へ向かう列車を待つそれぞれの駅で、あるいは辿り着いた目的地で、どのような景色が見えるでしょうか。新しい物語への切符は今、あなたの手のなかにあります。六人の作家、六つの駅が旅の非日常へと誘う、文庫オリジナル・アンソロジー。	

ノンフィクション・その他

Lineup for 2025：Other Genres

127

The Bookseller of Florence: Vespasiano da Bisticci and the Manuscripts that Illuminated the Renaissance ※原題		四六判上製
ロス・キング	杉田 七重 訳	年内
フィレンツェのルネッサンスというと、まず想起されるのは美しいフレスコ画や優美な建築だ。それらは素晴らしい画家や建築家の手によるものであるが、同じほど重要な存在——写本ハンター、写字生、学者、そして書籍商を忘れてはならない。彼らこそが、古代の知恵を発見して人々に広め、新しい世界へと導いたのだ。そして、その活動の中心に、ヴェスパシアーノ・ダ・ピスティッチという傑出した書籍商がいた——。写本から印刷へと本のかたちが移り行く時代と、長く忘れられたルネッサンス期の非凡な書籍商の姿を描く、すべての読書家に贈る傑作ノンフィクション！		
著者紹介：1962年カナダのサスカチュワン州生まれの作家。小説とノンフィクションを手がける。著書に『天才建築家ブルネレスキ——フィレンツェ・花のドームはいかにして建設されたか』『システィナ礼拝堂とミケランジェロ』『クロード・モネ——狂気の眼と「睡蓮」の秘密』などがある。		

128

Lovers in Auschwitz: A True Story ※原題		四六判上製
ケレン・ブランクフェルド	杉田 七重 訳	年内
スロバキアで生まれ育ったユダヤ人女性のツイッピ。23歳で後に第二アウシュヴィッツと呼ばれることになる収容所に収容された彼女は、グラフィックデザインの手腕を見こまれて、事務職に就く。そこにポーランド生まれのユダヤ人で、まだ少年の面影を残したダヴィドが到着。初めて目を合わせた瞬間から、ふたりは恋に落ちる。収容所内での恋愛は厳禁で、見つければガス室送り。ふたりの逢瀬は月に一度、三十分から多くて一時間だった。やがて離れ離れになりつつも、ふたりは奇跡的に生きのびて終戦を迎えた。ツイッピはダヴィドと約束した再会の地に向かうが……。		
著者紹介：フォーブスの元スタッフライター。ニューヨーク・タイムズ、ロイターなどに寄稿。現在はコロンビア大学ジャーナリズム大学院で教鞭を執る。著者が2020年にNew York Timesに発表し、大反響を得た記事を基にした本書でデビュー。		

129

『消えるヒッチハイカー』 The Vanishing Hitchhiker		四六判上製
ジャン・ハロルド・ブルンヴァン	満園 真木 訳	年内
自動車の運転手がヒッチハイカーを道中で拾うが、目的地だという家に辿り着くと、乗客はいつの間にか車内から消えている。不思議に思った運転手とその家を訪ねると、ヒッチハイカーは確かにその家の住人だったが、数年前に亡くなっていたことがわかる——現代アメリカ社会で「本当にあった」という前置きで語られる数々の噂。乾かすために電子レンジに放り込まれた猫の末路、テイクアウトのフライドチキンを食べたカップルを襲った衝撃、ニューヨークの下水に棲みつくトイレに流された元ペットの恐怖など、実際にあった事件や出来事に基づく、死や誘拐やアクシデント、スキャンダルを物語風に仕立てて流布される「都市伝説」。その研究における基本的文献が新訳にて復活。		
著者紹介：1933年ミシガン州生まれ。61年にインディアナ大学から民俗学で博士号を受けた。ユタ大学名誉教授。現代社会で出回る噂、物語に民俗学の方法論を適用し、いわゆる「都市伝説」の概念を確立したことで知られる。『消えるヒッチハイカー』を初めとして、都市伝説に関する書籍を数冊著している。		